

marantz®

CD Receiver
M-CR610

取扱説明書

目次

使用上のご注意	5
携帯電話使用時のご注意	5
お手入れについて	5
結露（つゆつき）について	5
換気についてのご注意	5
移動させるときのご注意	5
付属品	6
乾電池の入れかた	7
リモコンの使いかた	7
特長	8
多彩な音楽フォーマットに対応した オールインワンオーディオシステム	8
簡単操作	8

各部の名前

フロントパネル	9
リアパネル	11
リモコン	13

接続のしかた

スピーカーを接続する	17
スピーカーケーブルを接続する	17
サブウーハーを接続する	18
スピーカーAを接続する （標準的な接続）	18
スピーカーBを接続する	19
バイアンプ接続をする	20
アナログ機器を接続する	21
デジタル機器を接続する	21
USB端子にiPodまたはUSBメモリーを接続する	22
FM/AMアンテナを接続する	24
ホームネットワーク（LAN）に接続する	26
有線LAN	26
無線LAN	27
電源コードを接続する	28

再生のしかた

基本操作	30
電源を入れる.....	30
入力ソースを選ぶ.....	30
音量を調節する.....	31
一時的に音を消す（ミュートイング）.....	31
CDの再生	32
CDを再生する.....	32
好きな順に再生する（プログラム再生）.....	33
データCDの再生	34
ファイルを再生する.....	35
インターネットラジオを聴く	36
インターネットラジオを聴く.....	37
前回再生していたインターネットラジオ局を再生する.....	38
vTunerでインターネットラジオ局を お気に入り登録する.....	39
パソコンやNASに保存されているファイルを 再生する	40
メディアの共有設定をおこなう.....	41
パソコンやNASに保存されているファイルを再生する.....	42
FM/AM放送を聴く	44
FM/AM放送を聴く.....	44
受信モードを変更する （チューニングモード）.....	45
FM放送局を自動的にプリセットする （オートプリセット）.....	45

お気に入り機能	46
放送局またはファイルをお気に入りリストに登録する.....	47
お気に入りリストに登録した放送局またはファイルを 呼び出す.....	47
お気に入りリストに登録した放送局やファイルを再生中、 登録した放送局またはファイルを切り替える.....	47
お気に入りリストから放送局またはファイルを 削除する.....	48
iPodを再生する	49
iPodの音楽を聴く.....	50
オペレーションモードの設定 （Remote iPodモード）.....	51
iPod/iPhoneの充電.....	52
USBメモリーを再生する	53
USBメモリーに保存されているファイルを再生する.....	54
アナログ入力で聴く	55
デジタル入力で聴く	55
AirPlay機能	56
iPhone、iPod touch、iPadの音楽ファイルを 本機で再生する.....	57
iTunesの音楽を本機で再生する.....	58
複数のスピーカー（機器）を選ぶ.....	58
本機のリモコンでiTunesの再生操作をおこなう.....	59
Remote play機能	60
それぞれの機器に必要な設定.....	61

ウェブコントロール機能	63
ウェブコントロール機能で本機をコントロールする	63
その他の機能	68
マルチドライブ接続をして2つの部屋で音楽を聴く	69
音質を調節する	71
スリープタイマーを設定する	72
現在の時刻を確認する	72
ディスプレイの明るさを切り替える	72

設定のしかた

メニュー 一覧	73
メニューの操作のしかた	76
文字入力について	77
数字ボタンで入力する	77
カーソルボタンで入力する	77
一般	78
アラーム	78
時計	79
スピーカー設定	79
言語	80
オートスタンバイ	80
ファームウェア	80
ネットワーク	83
ネットワーク情報	83
ネットワーク制御	83
フレンドリ名	83
詳細な設定	84

困ったときは

目次	89
上手な使いかた/こんなときの解決方法	90
故障かな?と思ったら	92
お買い上げ時の設定に戻す	103
保証と修理について	104

付録

データCDを再生する	105
USBメモリーを再生する	106
インターネットラジオ局の再生について	107
パソコンやNASに保存されているファイルを再生する	108
ディスクについて	109
ラストファンクションメモリー	110
用語の解説	111
登録商標について	115
主な仕様	116
索引	119

使用上のご注意

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

結露（つゆつき）について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部）に水滴が付くことがあります（結露）。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま1～2時間放置してから使用してください。

換気についてのご注意

本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

移動させるときのご注意

最初にディスクを取り出して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
次に、機器間の接続ケーブルを外してからおこなってください。

ステレオ音のエチケット



音のエチケット

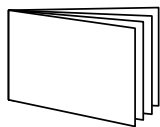
- 隣近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

お買い上げいただきありがとうございます。
本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

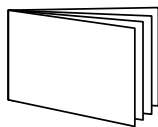
付属品

ご使用になる前にご確認ください。

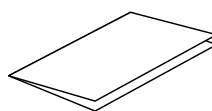
① かんたん設定ガイド



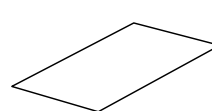
② 取扱説明書



③ 安全にお使いいただくために



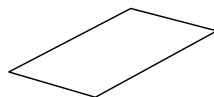
④ 電波に関するご注意



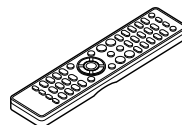
⑤ 保証書



⑥ 製品のご相談と
修理・サービス窓口のご案内



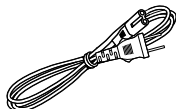
⑦ リモコン (RC011CR)



⑧ 単4形乾電池 (2本)



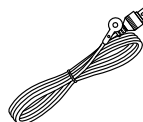
⑨ 電源コード【本機専用】



⑩ AMループアンテナ

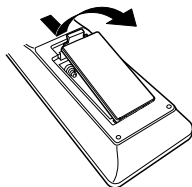


⑪ FM室内アンテナ

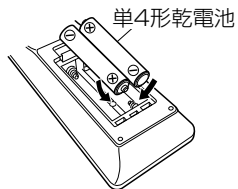


乾電池の入れかた

- ① 裏ぶたを矢印の方向へ押し上げて取り外す。



- ② 乾電池（2本）を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。



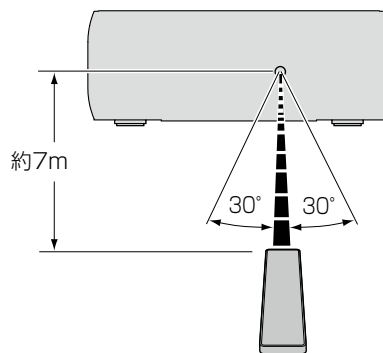
- ③ 裏ぶたを元どおりにする。

ご注意

- 乾電池は、リモコンの乾電池収納部の表示どおりに⊕側・⊖側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、
 - 新しい乾電池と使用済みの乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けて使用してください。



特長

多彩な音楽フォーマットに対応した オールインワンオーディオシステム

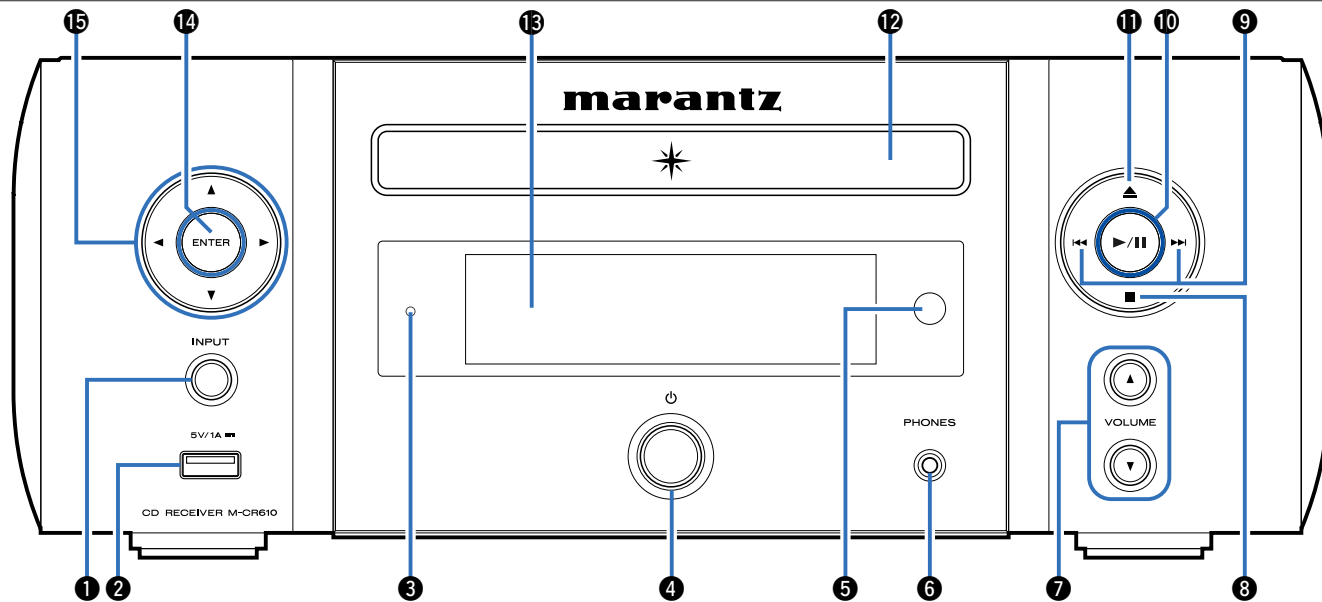
- インターネットラジオなどのネットワーク機能に加え、**AirPlay®機能を搭載**（[P.56ページ](#)）
インターネットラジオを聴いたり、パソコンに保存している音楽ファイルを再生したり、さまざまな再生をお楽しみいただけます。
また、本機はAirPlay機能も搭載していますので、ネットワークを通してiPhone®やiPad®、iPod touch®, iTunes®の音楽を本機で再生できます。
- **DLNA**（デジタル・リビング・ネットワーク・アライアンス Digital Living Network Alliance）ver.1.5 に準拠したネットワーク機能搭載
- 高音質なオーディオ再生に対応
WAV/FLAC/ALAC（Apple Lossless Audio Codec）
- **Gapless再生**に対応
音楽ファイル間を途切れることなく再生（WAV/FLACのみ）
- Wi-Fi接続でオーディオファイルを再生したときの通信安定性を向上させる**WMM**（Wi-Fi Multi Media）をサポート
- 高音質・高出力デジタルアンプの搭載とバイアンプ方式の採用

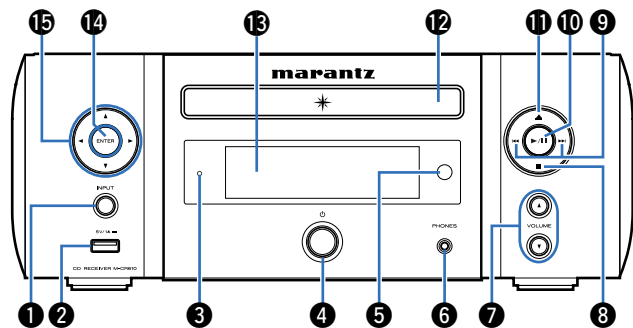
簡単操作

- 簡単にWi-Fi接続を実現する、Wi-Fi接続ボタンを搭載（WPS/Wi-Fi共有機能）
別冊の「かんたん設定ガイド」をご覧ください。
- iPodを接続することで自動的に充電開始、充電完了後、本体の状態に合わせて消費電力を最適化するスマート充電コントロール
- iPad、iPhone や Android スマートフォンで本機の基本的な操作がおこなえる“**Marantz Remote App**” * に対応
“Marantz Remote App” は、iPad、iPhone、Android スマートフォンや Android タブレットで本機の電源のオン/オフや音量調節、入力ソースの切り替えなどの基本操作がおこなえるアプリケーションソフトです。
* “Marantz Remote App” を iOS や Android 機器からダウンロードしてください（無料）。本機を LAN 接続し、同じネットワーク上に Wi-Fi（無線 LAN）にて iPhone、iPod touch、Android スマートフォンや Android タブレットを接続する必要があります。
- 3行表示可能な有機ELディスプレイ搭載
- 電力消費をおさえるオートスタンバイ機能搭載

各部の名前

フロントパネル





① 入力ソース選択ボタン (INPUT)

入力ソースを選択します。

② USB端子 (フロント)

iPodまたはUSBメモリーを接続します (☞22ページ)。

③ スタンバイ表示

本機の状態により次のように変わります。

- ・電源オン時：消灯
- ・通常のスタンバイ時：消灯
- ・“ネットワーク制御”の設定が“オン”のとき：赤色 (☞83ページ)
- ・iPodの充電スタンバイ時：赤色 (☞52ページ)
- ・アラームスタンバイ時：オレンジ色 (☞78ページ)
- ・ディスプレイの明るさが消灯のとき：緑色 (☞72ページ)

④ 電源ボタン (⏻)

本機の電源をオン/オフ (スタンバイ) に切り替えます。

⑤ リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します (☞7ページ)。

⑥ ヘッドホン端子 (PHONES)

ヘッドホンを接続します。

ヘッドホンのプラグを差し込むと、スピーカーから音が出なくなります。

ご注意

- ・ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

⑦ 音量調節ボタン (VOLUME ▲▼)

音量を調節します。

⑧ ストップボタン (■)

⑨ スキップボタン (◀◀、▶▶)

⑩ プレイ/ポーズボタン (▶/||)

⑪ ディスクトレイ開閉ボタン (⬆)

ディスクトレイを開閉します。

⑫ ディスクトレイ

ディスクをセットします。

⑬ ディスプレイ

再生状態や設定値などを表示します。

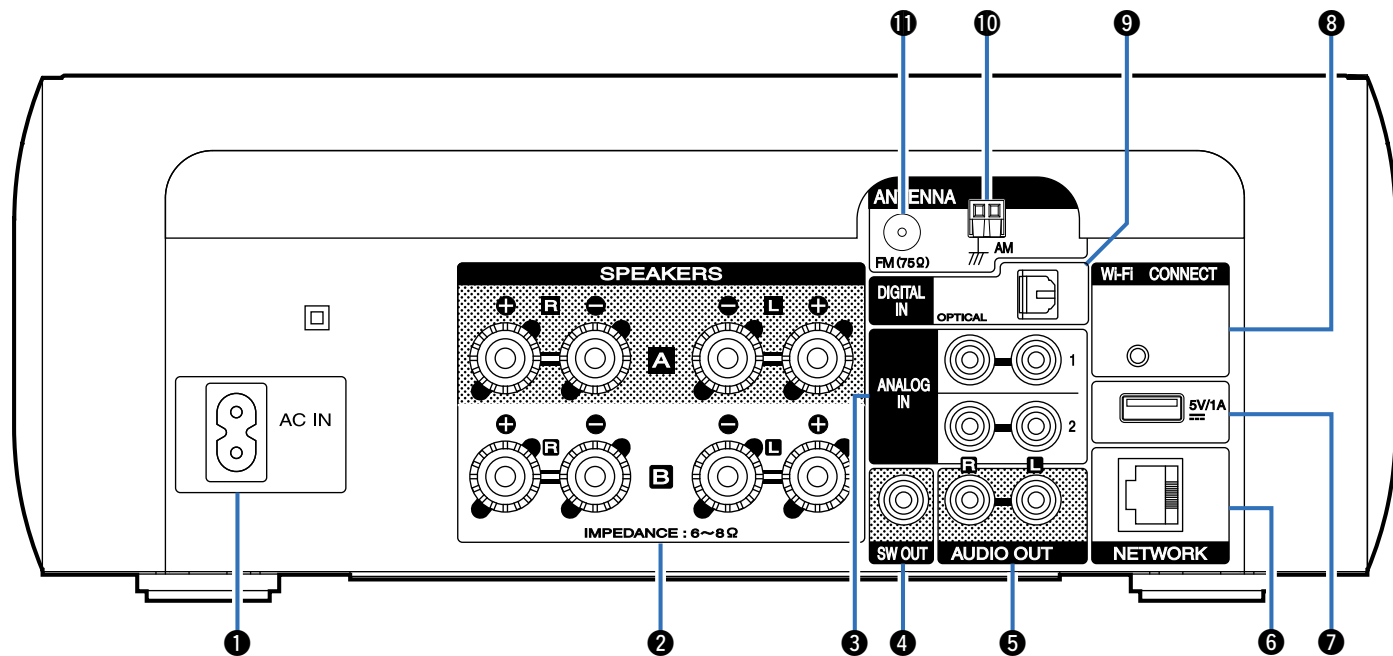
⑭ エンターボタン (ENTER)

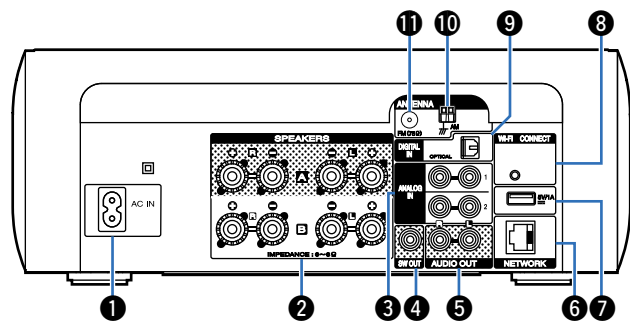
選択した内容を確定します。

⑮ カーソルボタン (△▽◀▶)

項目を選択します。

リアパネル





① AC インレット (AC IN)

付属の電源コードを接続します (P.28 ページ)。

② スピーカー端子 (SPEAKERS)

スピーカーを接続します
(P.17、18、19、20 ページ)。

③ アナログ入力端子 (ANALOG IN)

アナログオーディオ端子付きの機器を接続します
(P.21 ページ)。

④ サブウーハー端子 (SW OUT)

アンプ内蔵のサブウーハーを接続します
(P.18 ページ)。

⑤ オーディオ出力端子 (AUDIO OUT)

アナログオーディオ端子付きの機器や外部のプリメインアンプを接続します。

⑥ ネットワーク端子 (NETWORK)

本機をネットワークに接続します (P.26 ページ)。

⑦ USB端子 (リア)

iPodまたはUSBメモリーを接続します (P.22 ページ)。

⑧ Wi-Fi接続ボタン (Wi-Fi CONNECT)

無線LAN接続に使用します。
(別冊の「かんたん設定ガイド」をご覧ください。)

⑨ デジタル入力端子 (DIGITAL IN)

デジタルオーディオ端子付きの機器を接続します
(P.21 ページ)。

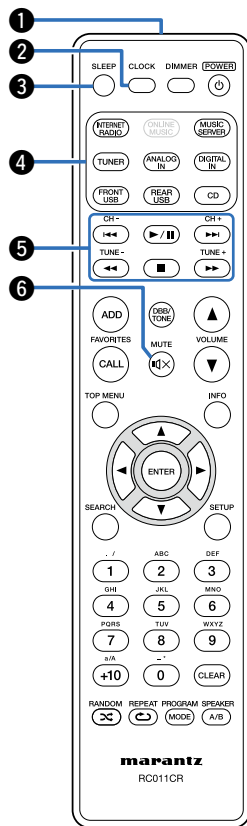
⑩ AMアンテナ端子 (ANTENNA)

AMループアンテナを接続します (P.24 ページ)。

⑪ FMアンテナ端子 (ANTENNA)

FM室内アンテナを接続します (P.24 ページ)。

リモコン



① リモコン信号送信窓

リモコンの信号を送信します (☞7ページ)。

② クロックボタン (CLOCK)

現在時刻を表示します (☞72ページ)。

③ スリープボタン (SLEEP)

スリープタイマーを設定します (☞72ページ)。

④ 入力ソース選択ボタン

入力ソースを選択します (☞30ページ)。



・本機では、ONLINE MUSICボタンを使用しません。

⑤ システムボタン

再生に関する操作をします
(☞32、35、42、51、54ページ)。

- ・スキップボタン (◀◀、▶▶)
- ・プレイ/ポーズボタン (▶/||)
- ・早戻し/早送りボタン (◀◀、▶▶)
- ・ストップボタン (■)

チャンネルボタン (CH +、-)

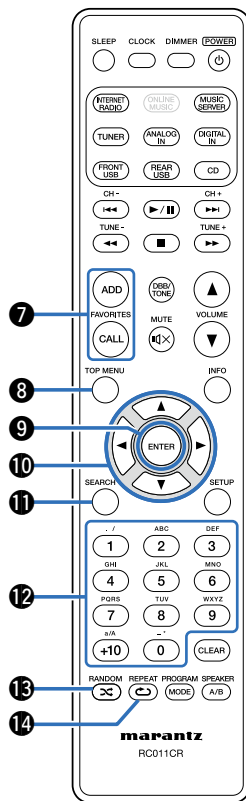
お気に入り機能进行操作します (☞46ページ)。

選局ボタン (TUNE +、-)

チューナーを操作します (☞44ページ)。

⑥ ミュートボタン (MUTE ㊦)

消音します (☞31ページ)。



**7 お気に入り登録 / 呼び出しボタン
(FAVORITES ADD / CALL)**

- お気に入りリストに放送局やファイルを追加するときに ADD ボタンを押してください (☞ 47 ページ)。
- お気に入りリストに登録された放送局やファイルを呼び出すときに CALL ボタンを押してください (☞ 47 ページ)。

8 トップメニューボタン (TOP MENU)
トップメニューに移動します (☞ 76 ページ)。

9 エンターボタン (ENTER)
選択した内容を確定します (☞ 76 ページ)。

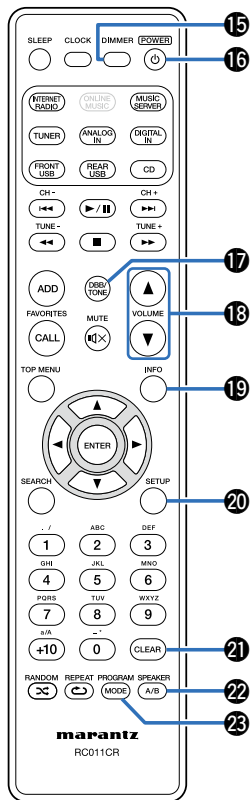
10 カーソルボタン (△▽◀▶)
項目を選択します (☞ 76 ページ)。

11 サーチボタン (SEARCH)
サーチメニューを表示します
(☞ 38、42、45、54 ページ)。

12 数字ボタン (0 ~ 9、+10)
文字や数字の入力をします (☞ 77 ページ)。

13 ランダムボタン (RANDOM 𐄂)
ランダム再生をします
(☞ 33、35、42、51、54 ページ)。

14 リピートボタン (REPEAT 𐄂)
リピート再生をします
(☞ 33、35、42、51、54 ページ)。



- 15 ディマーボタン (DIMMER)**
 本機のディスプレイの明るさを調節します (☞ 72 ページ)。)
- 16 電源操作ボタン (POWER ⏻)**
 本機の電源をオン/オフ (スタンバイ) に切り替えます (☞ 30 ページ)。)
- 17 DBB トーンボタン (DBB/TONE)**
 音質を調節します (☞ 71 ページ)。)
- 18 音量調節ボタン (VOLUME ▲▼)**
 音量を調節します (☞ 31 ページ)。)
- 19 インフォメーションボタン (INFO)**
 再生時間やアルバム名、タイトル名などを表示します (☞ 33、35、38、42、51、54 ページ)。)
- 20 セットアップボタン (SETUP)**
 ディスプレイに設定メニューを表示します (☞ 76 ページ)。)
- 21 クリアボタン (CLEAR)**
 設定を取り消します (☞ 33、48、77 ページ)。)
- 22 スピーカー A/B ボタン (SPEAKER A/B)**
 スピーカーの出力を切り替えます (☞ 70 ページ)。)
- 23 プログラム / モードボタン**
- **プログラムボタン (PROGRAM)**
 プログラム再生をします (☞ 33 ページ)。)
 - **モードボタン (MODE)**
 動作モードを切り替えます (☞ 35、45、51 ページ)。)

接続のしかた

スピーカーを接続する(☞17ページ)

アナログ機器を接続する(☞21ページ)

デジタル機器を接続する(☞21ページ)

USB端子にiPodまたはUSBメモリーを接続する(☞22ページ)

FM/AMアンテナを接続する(☞24ページ)

ホームネットワーク (LAN) に接続する(☞26ページ)

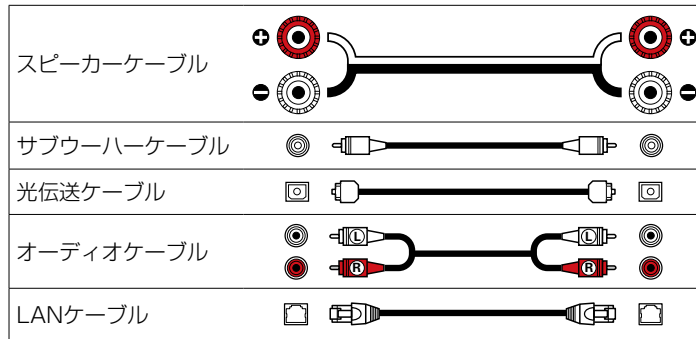
電源コードを接続する(☞28ページ)

ご注意

- すべての接続が終わるまで電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。雑音の原因となることがあります。

■ 接続に使用するケーブル

接続する機器に合わせて、必要なケーブルをご用意ください。



スピーカーを接続する

部屋に設置したスピーカーを本機に接続します。
ここでは例として、代表的な接続方法を説明します。

ご注意

- スピーカーを接続する前に、本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。また、サブウーハーの電源を切ってください。
- スピーカーケーブルの芯線が、スピーカー端子からはみ出さないように接続してください。芯線がリアパネルやねじに接触したり、+側と-側が接触したりすると、保護回路が動作します（[P.115ページ](#)「保護回路」）。
- 通電中は絶対にスピーカー端子に触れないでください。感電する場合があります。
- スピーカーは、インピーダンスが6~8Ωのものを使用してください。

スピーカーケーブルを接続する

本機と接続するスピーカーの左チャンネル（L）、右チャンネル（R）、+（赤）、-（黒）をよく確認して、同じ極性を接続してください。

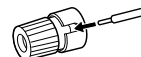
1 スピーカーケーブル先端の被覆を10mm程度はがし、芯線をしっかりとよじるか、端末処理をおこなう。



2 スピーカー端子を左に回してゆるめる。



3 スピーカーケーブルの芯線をスピーカー端子の根元に差し込む。

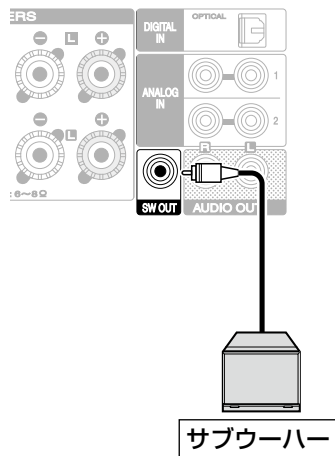


4 スピーカー端子を右に回して締める。

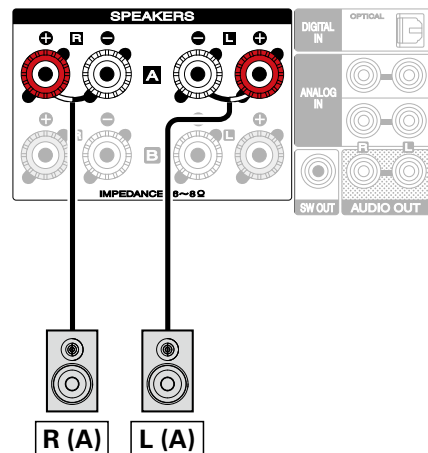


サブウーハーを接続する

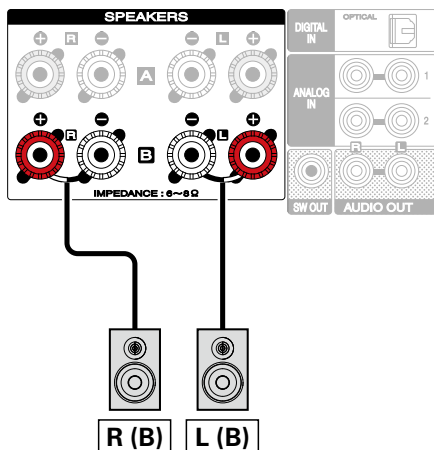
サブウーハーケーブルを使用して、サブウーハーと接続します。



スピーカーAを接続する (標準的な接続)



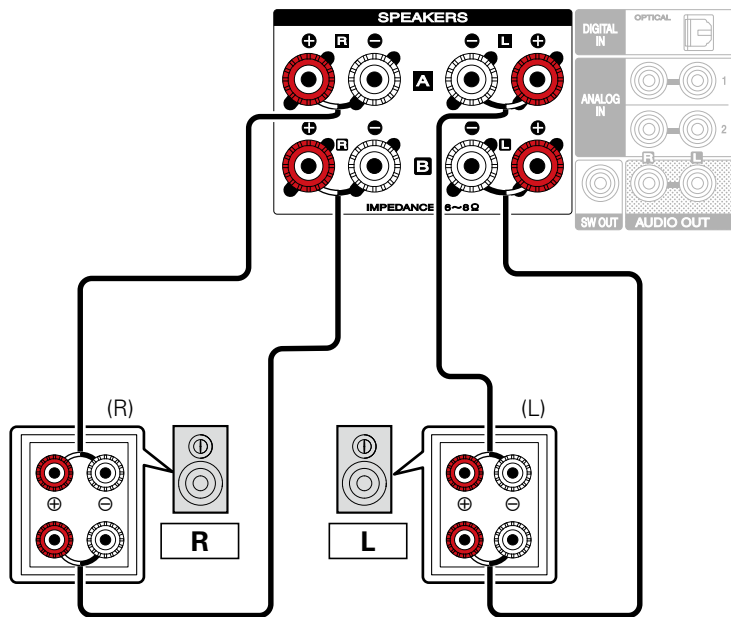
スピーカーBを接続する



- この接続をおこなう場合は、設定メニューの“バイアンプ”（[79ページ](#)）を“無効”に設定してください。
- スピーカーAの他にスピーカーBを接続することで、別々に音声を出したり、両方から音声を出したりして楽しむマルチドライブ接続（[69ページ](#)）が可能です。

バイアンプ接続をする

バイアンプ接続は、バイアンプ対応スピーカーのツイーター用端子とウーハー用端子に、別々のアンプを接続する方法です。これによりウーハーの逆起電力（出力されずに戻ってくる電力）がツイーターに流れ込んでツイーターの音質に影響を及ぼすことがないため、より高音質な再生をお楽しみいただくことができます。

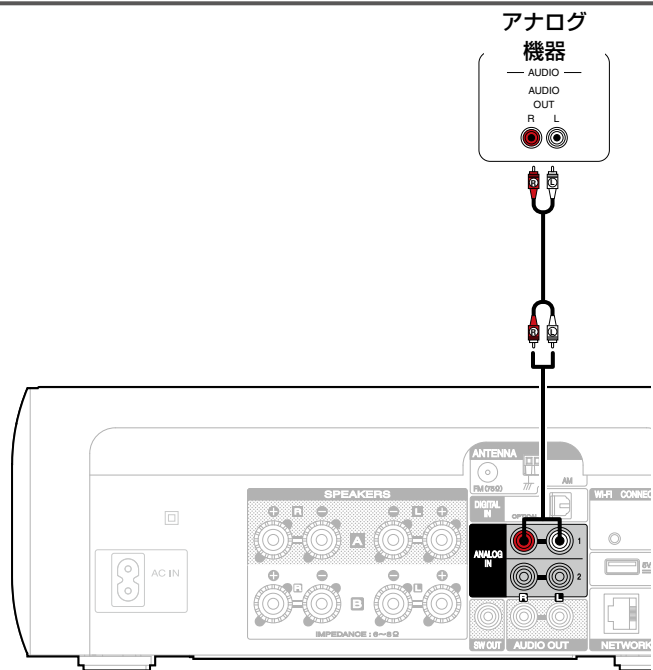


- この接続をおこなう場合は、設定メニューの“バイアンプ”（[P.79](#) ページ）を“有効”に設定してください。

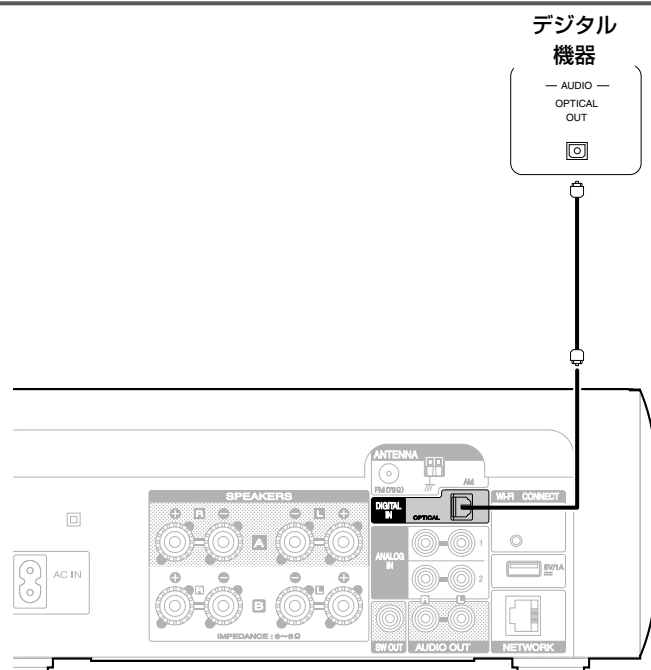
ご注意

- バイアンプ接続をおこなう場合は、スピーカーのウーハー端子とツイーター端子を接続している短絡板または短絡用ワイヤーを必ず外してください。

アナログ機器を接続する

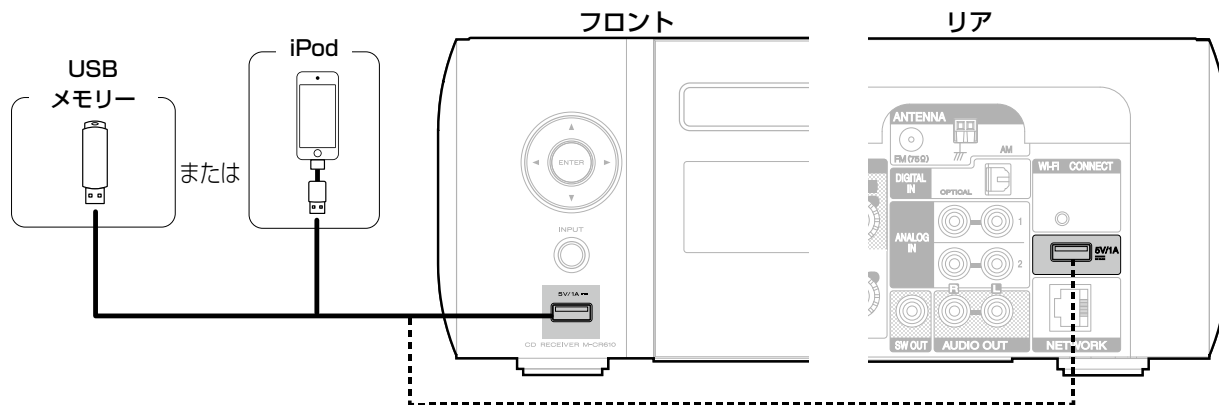


デジタル機器を接続する



USB端子にiPodまたはUSBメモリーを接続する

本機とiPodを接続するときは、iPodに付属のUSBケーブルを使用してください。
操作のしかたは、「iPodを再生する」(P.49ページ)または「USBメモリーを再生する」(P.53ページ)をご覧ください。



- すべてのUSBメモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。USB接続タイプのポータブルHDDで、ACアダプターを接続して電源が供給できるタイプのものを使用する場合は、ACアダプターのご使用をおすすめします。

ご注意

- USBメモリーはUSBハブ経由では動作しません。
- 本機のUSB端子とパソコンをUSBケーブルで接続して使用することはできません。
- USBメモリーを接続するときに、延長ケーブルを使用しないでください。他の機器に電波障害を引き起こす場合があります。

■ 対応しているiPod/iPhone

• iPod classic



iPod classic
80GB



iPod classic
160GB (2007)



iPod classic
160GB (2009)

• iPod nano



iPod nano
3rd generation
(video)
4GB 8GB



iPod nano
4th generation (video)
8GB 16GB



iPod nano
5th generation (video camera)
8GB 16GB



iPod nano
6th generation
8GB 16GB



iPod nano
7th generation
16GB

• iPod touch



iPod touch
1st generation
8GB 16GB 32GB



iPod touch
2nd generation
8GB 16GB 32GB



iPod touch
3rd generation
32GB 64GB



iPod touch
4th generation
8GB 32GB 64GB



iPod touch
5th generation
32GB 64GB

• iPhone



iPhone
4GB 8GB 16GB



iPhone 3G
8GB 16GB



iPhone 3GS
8GB 16GB 32GB



iPhone 4
8GB 16GB 32GB



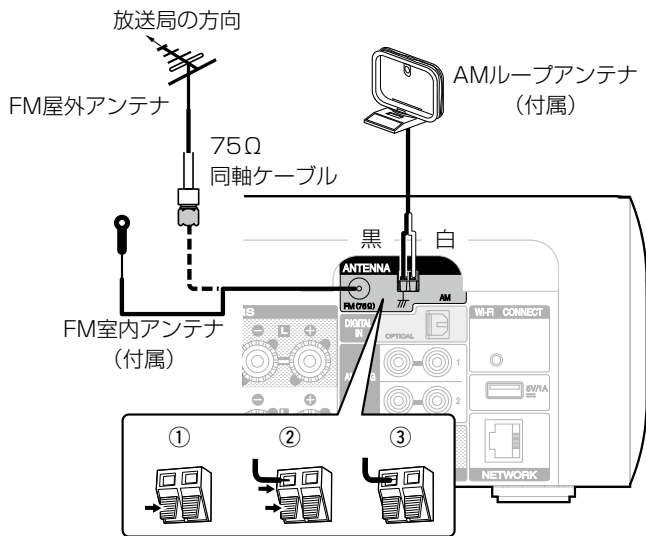
iPhone 4S
16GB 32GB 64GB



iPhone 5
16GB 32GB 64GB

FM/AMアンテナを接続する

アンテナを接続したあとに放送を受信（[P.44](#) ページ「FM/AM 放送を聴く」）し、雑音の少ない位置にテープなどで固定してください。

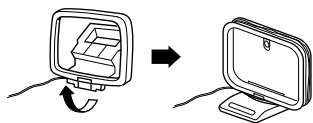
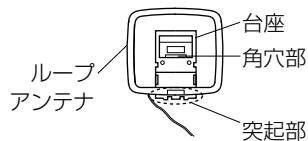


ご注意

- 2つのFMアンテナを同時に接続しないでください。
- 放送を良好に受信できない場合は、屋外アンテナの設置をおすすめします。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- AM屋外アンテナを接続した場合も、AMループアンテナを外さないでください。
- AMループアンテナ線がリアパネルやねじに接触していないか確認してください。

■ AMループアンテナの組み立てかた

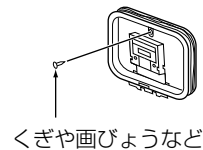
- 1 台座部をループアンテナの後ろから、ループアンテナの下を通して、手前に曲げる。
- 2 突起部を台座の角穴部に、差し込む。



■ AMループアンテナの使いかた

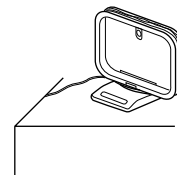
壁に掛けて使用する

組み立てずにそのまま使用してください。



置いて使用する

図のように組み立てて使用してください。

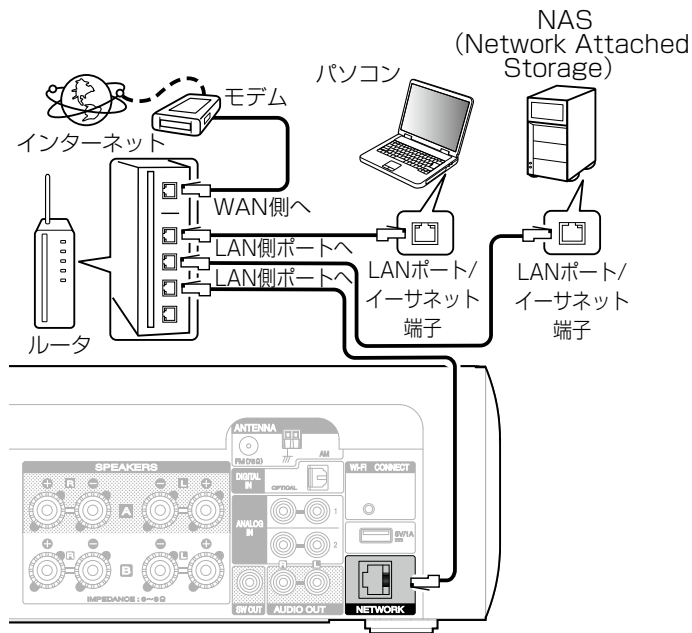


ホームネットワーク（LAN）に接続する

本機はホームネットワーク（LAN）に接続して、次のさまざまな再生や操作をおこなうことができます。

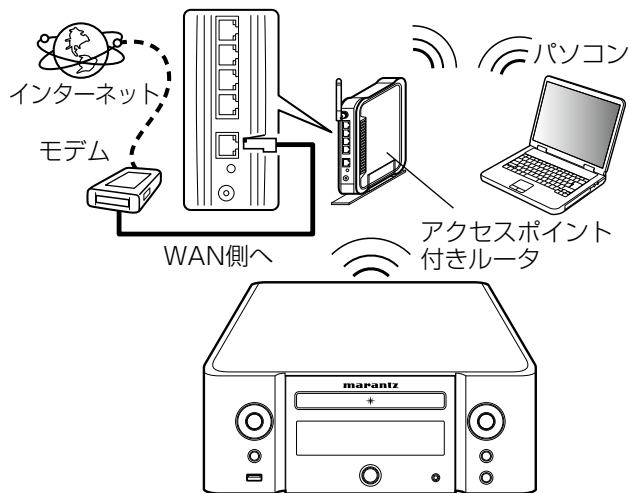
- インターネットラジオやミュージックサーバーなどのネットワークオーディオの再生
- AirPlay再生
- ネットワークを経由した本機の操作
- ファームウェアのアップデート

有線LAN



インターネットの接続については、ISP（インターネット・サービスプロバイダ）またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。

無線LAN



* Wi-Fiアンテナは本機に内蔵しています。



- 本機は DHCP 機能や Auto IP 機能を使用して、自動的にネットワークの設定ができます。
- ブロードバンドルータ (DHCP 機能) をご使用の場合は、本機が自動的に IP アドレスなどの設定をおこないます。DHCP 機能のないネットワークに本機を接続してご使用になる場合は、設定メニューの“ネットワーク” (P.83 ページ) で IP アドレスなどの設定をおこなってください。

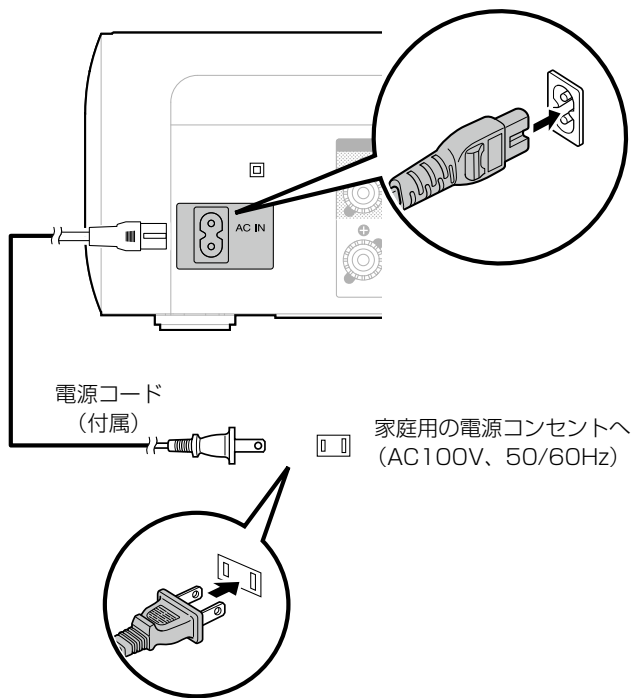
- 本機を使用するにあたって、次の機能が装備されているルータをおすすめします。
- DHCPサーバー内蔵
LAN上のIPアドレスを自動的に割り振る機能です。
- 100BASE-TXスイッチ内蔵
複数の機器を接続するために、100Mbps以上の速度で、スイッチングハブを内蔵していることをおすすめします。
- STPタイプまたはScTPタイプのシールドLANケーブルを使用してください。(CAT-5以上を推奨)
- LANケーブルは、シールド付きのノーマルタイプをおすすめします。フラットタイプのケーブルやシールドされていないケーブルを使用すると、ノイズが他の機器に影響を及ぼす可能性があります。
- WPS (Wi-Fi Protected Setup) 機能に対応したルータを使用すると、本機のWi-Fi CONNECTボタンを使用して簡単にWi-Fi接続することができます。(別冊の「かんたん設定ガイド」をご覧ください。)

ご注意

- ISP業者によって使用できるルータの種類が異なります。詳しくは、ISP業者またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。
- 本機はPPPoEに対応していません。PPPoEで設定するタイプの回線契約を結んでいる場合は、PPPoE対応のルータが必要です。
- NETWORK端子は、直接パソコンのLANポート/イーサネット端子と接続しないでください。

電源コードを接続する

すべての接続が完了したら、電源プラグをコンセントに差し込みます。



再生のしかた

電源を入れる (P.30ページ)

入力ソースを選ぶ (P.30ページ)

音量を調節する (P.31ページ)

一時的に音を消す (ミュート) (P.31ページ)

CDの再生 (P.32ページ)

データCDの再生 (P.34ページ)

インターネットラジオを聴く (P.36ページ)

パソコンやNASに保存されているファイルを再生する
(P.40ページ)

FM/AM放送を聴く (P.44ページ)

お気に入り機能 (P.46ページ)

iPodを再生する (P.49ページ)

USBメモリーを再生する (P.53ページ)

アナログ入力で聴く (P.55ページ)

デジタル入力で聴く (P.55ページ)

AirPlay機能 (P.56ページ)

Remote play機能 (P.60ページ)

ウェブコントロール機能 (P.63ページ)

マルチドライブ接続をして2つの部屋で音楽を聴く
(P.69ページ)

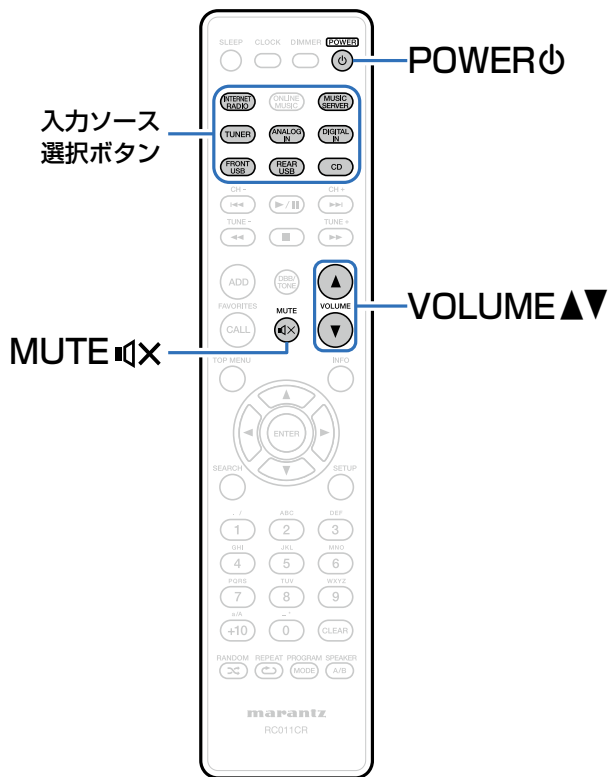
音質を調節する (P.71ページ)

スリープタイマーを設定する (P.72ページ)

現在の時刻を確認する (P.72ページ)

ディスプレイの明るさを切り替える (P.72ページ)

基本操作



電源を入れる

1 POWER ⏻を押して、電源を入れる。



• 本体の⏻を押しても電源を入れることができます。

入力ソースを選ぶ

1 再生する入力ソース選択ボタンを押す。
入力ソースをダイレクトに選択できます。



- TUNERをもう一度押すと、FM/AMの切り替えをおこないます。
- ANALOG INをもう一度押すと、Analog In 1/2の切り替えをおこないます。
- 本体のINPUTを押しても、入力ソースを選択できます。

音量を調節する

- 1 **VOLUME ▲▼**を押して、音量を調節する。
音量レベルを表示します。



- 本体の**VOLUME ▲▼**を押しても、音量を調節できます。

一時的に音を消す（ミュートイング）

- 1 **MUTE ㊦**を押す。
ディスプレイに“MUTING”を表示します。



- 解除するときは、もう一度**MUTE ㊦**を押してください。

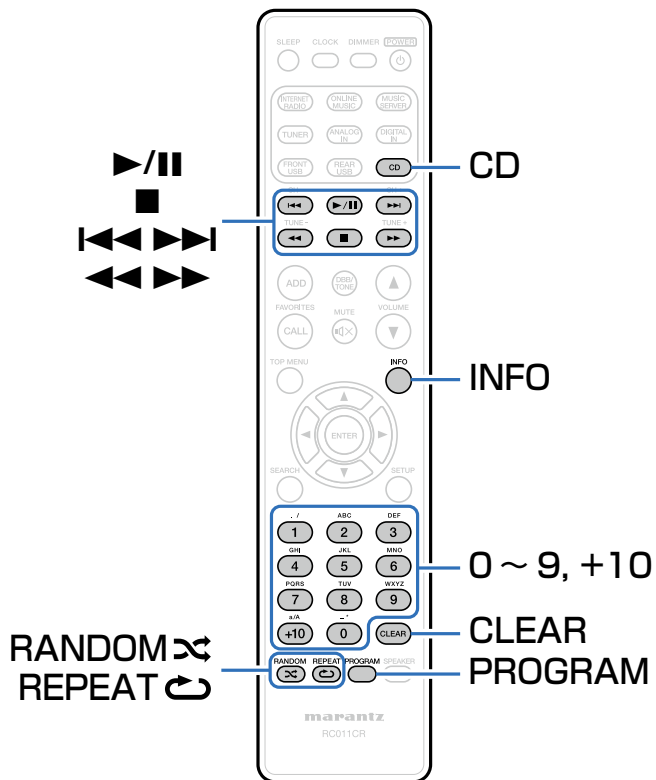
CDの再生



CDを再生する

- 1 CDを押して、入力ソースを“CD”に切り替える。
- 2 ディスクトレイにディスクを入れる (参照 109 ページ)。
 - 本体の▲を押すと、ディスクトレイは開閉します。
- 3 ▶/||を押す。

ご注意

- 電源を切っているときに、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因になります。
- ディスクトレイに異物を入れないでください。故障の原因になります。



操作ボタン	機能
▶/	再生/一時停止
■	停止
◀◀ ▶▶	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ (長押し)
◀▶▶▶	早戻し/早送り
0~9、+10	ダイレクト選曲
RANDOM 	ランダム再生 ・停止中に設定できます。
REPEAT 	リピート再生 ・1曲リピートと全曲リピートを切り替えます。
INFO	経過時間表示の切り替え

好きな順に再生する（プログラム再生）

1 停止中にPROGRAMを押す。
“プログラム”を表示します。

2 0 ~ 9、+10を押して、トラック番号を入力する。

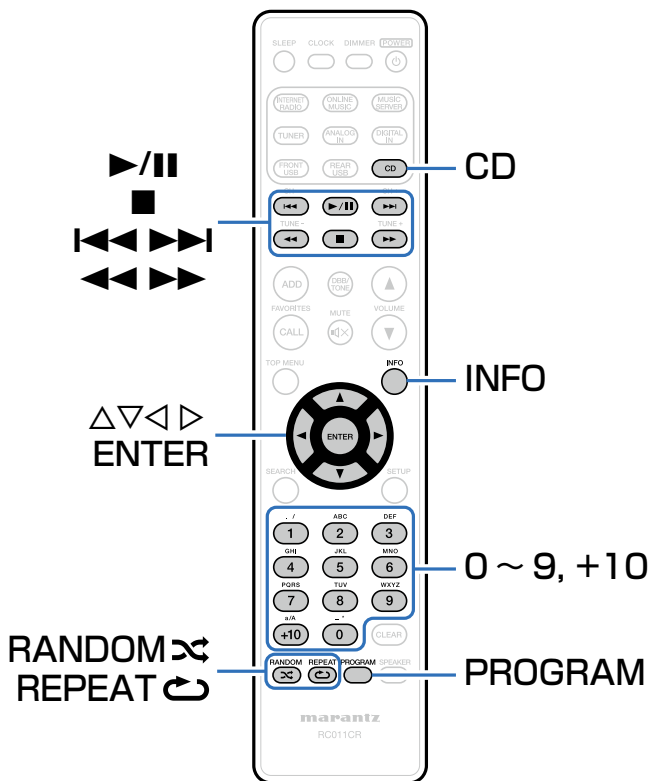
【例】3曲目、12曲目、7曲目の順にプログラムする場合は、PROGRAM、3、+10、2、7と押す。

3 ▶/||を押す。



- ・ディスプレイを開けたり、電源を切ったりするとプログラムを解除します。
- ・停止中にCLEARを押すと、プログラムした最後の曲を取り消します。
▶▶▶を押すと、取り消したい曲を選択できます。
- ・停止中にPROGRAMを押すと、プログラムした曲が取り消されます。
- ・最大25曲までプログラムできます。

データCDの再生



- ここでは、CD-RまたはCD-RWに記録しているMP3とWMAファイルの再生のしかたを説明します。
- インターネットのホームページ上には、MP3形式やWMA（Windows Media[®] Audio）形式の音楽ファイルをダウンロードできるさまざまな音楽配信サイトがあります。そのサイトからダウンロードした音楽（ファイル）をCD-RまたはCD-RWに書き込むことにより、本機で再生できます。

“Windows Media” および “Windows” は、米国やその他の国で、米国Microsoft Corporationの登録商標または商標です。

ファイルを再生する

- 1 CDを押して、入力ソースを“CD”に切り替える。
- 2 MP3やWMA形式の音楽ファイルを記録してあるCD-R/CD-RWをディスクトレイに入れる
([109ページ](#))。
- 3 Δ / ∇ を押して再生したいフォルダを選び、ENTERを押す。
再生をはじめます。

操作ボタン	機能
\blacktriangleright / \blacktriangleleft	再生/一時停止
■	停止
\blacktriangleleft \blacktriangleleft \blacktriangleright \blacktriangleright	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
\blacktriangleleft \blacktriangleleft \blacktriangleright \blacktriangleright	(長押し) 早戻し/早送り
Δ / ∇	フォルダの選択
\triangleleft / \triangleright	ファイルの選択
0~9、+10	ダイレクト選曲
MODE	再生モードの切り替え ・選択したフォルダ内のすべてのファイルを再生するか、ディスク内のすべての曲を再生するかを切り替えます。
RANDOM 	ランダム再生 ・停止中に設定できます。
REPEAT 	リピート再生 ・1曲リピートと全曲リピートを切り替えます。
INFO	アーティスト名とアルバム名の表示を切り替えます。

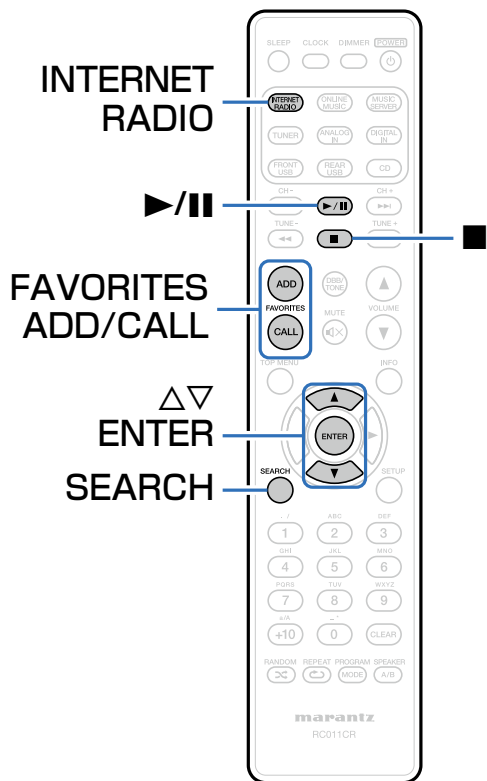


・本機はディスク読み込み時にフォルダの番号とファイルの番号を自動的に設定します。

■再生できるファイルについて

「データCDを再生する」([105ページ](#))をご覧ください。

インターネットラジオを聴く



- インターネットラジオとは、インターネット上に配信されているラジオ放送です。世界中のインターネットラジオ放送を聴くことができます。
- 本機で再生できる放送局の種類は、次のとおりです。
 - **WMA** (Windows Media Audio)
 - **MP3** (MPEG-1 Audio Layer-3)
 - **MPEG-4 AAC**

インターネットラジオを聴く

本機は前回再生したインターネットラジオ局を記憶していません。INTERNET RADIOを押すと、他の入力ソースからインターネットラジオに切り替わり、前回再生していたインターネットラジオ局を再生します。

1 再生の準備をする。

- ネットワーク環境を確認してから、本機の電源を入れます（[26ページ](#)「ホームネットワーク（LAN）に接続する」）。

2 INTERNET RADIOを押す。

3 △▽を押して再生したい項目を選び、ENTERを押す。

日本：

- 日本の一般的なインターネットラジオ局を表示します。

ラジオ局の検索：

- 本機で受信できるすべてのインターネットラジオ局を表示します。

Podcastsの検索：

- 本機で受信できるポッドキャスト内のインターネットラジオ局を表示します。

お奨めのラジオ局：

- おすすめのインターネットラジオ局を表示します。

radiomarentz.com：

- vTunerでお気に入り登録しているインターネットラジオ局を表示します。vTunerでのお気に入り登録のしかたは、「vTunerでインターネットラジオ局をお気に入り登録する」（[39ページ](#)）をご覧ください。

最近再生したラジオ局：

- 最近再生したインターネットラジオ局を表示します。最大20局まで“最近再生したラジオ局”へ自動的に記憶します。

文字列による検索：

- キーワード検索したインターネットラジオ局を表示します。文字の入力方法については、[77ページ](#)をご覧ください。

4 △▽を押してラジオ局を選び、ENTERを押す。 バッファリングが“100%”表示になると、再生をはじめます。

操作ボタン	機能
▶/	再生
■	停止
FAVORITES CALL	お気に入りリストからの呼び出し
FAVORITES ADD	お気に入りリストへの追加
SEARCH	文字検索 <ul style="list-style-type: none"> • リストがアルファベット順に並んでいない場合、文字検索ができないことがあります。
△▽◀▷	項目の選択
ENTER	選択項目の決定
INFO	ファイルタイプ/ビットレートや放送局名などの表示を切り替えます。



- ディスプレイ表示に対応していない文字は、“.”（ピリオド）に置き換えて表示します。

ご注意

- ラジオ局データベースサービスは、予告なく停止する場合があります。

前回再生していたインターネットラジオ局を再生する

1 INTERNET RADIOを押す。

入カソースを“Internet Radio”に切り替え、前回再生していたインターネットラジオ局を再生します。

vTunerでインターネットラジオ局をお気に入り登録する

世界中にはたくさんのインターネットラジオ局があり、本機はそれらを受信できます。しかし、ラジオ局が多すぎるために聴きたい放送を探すのは大変です。そこで本機専用のインターネットラジオ局検索ウェブサイトvTunerを使用してください。お手持ちのパソコンを使用して、インターネットラジオ局の検索と登録ができます。本機ではvTunerに登録したラジオ局を再生できます。

- 1 **本機のMACアドレスを確認する** (☞ 83ページ「ネットワーク情報」)。
 - MACアドレスは、vTunerのアカウント作成の際に必要なになります。
- 2 **お手持ちのパソコンからvTunerのサイト** (<http://www.radiomarantz.com>) にアクセスする。
- 3 **本機のMACアドレスを入力し、“Go” をクリックする。**
- 4 **パソコンのE-mailアドレスと任意のパスワードを入力する。**

- 5 **お好みで検索条件 (ジャンル / 地域 / 言語など) を選ぶ。**
 - キーワードを入力し、聴きたい曲を探すこともできます。
- 6 **表示されたリストからお好みのラジオ局を選び、お気に入り登録アイコンをクリックする。**
- 7 **お気に入りグループ名を入力し、“Go” をクリックする。**

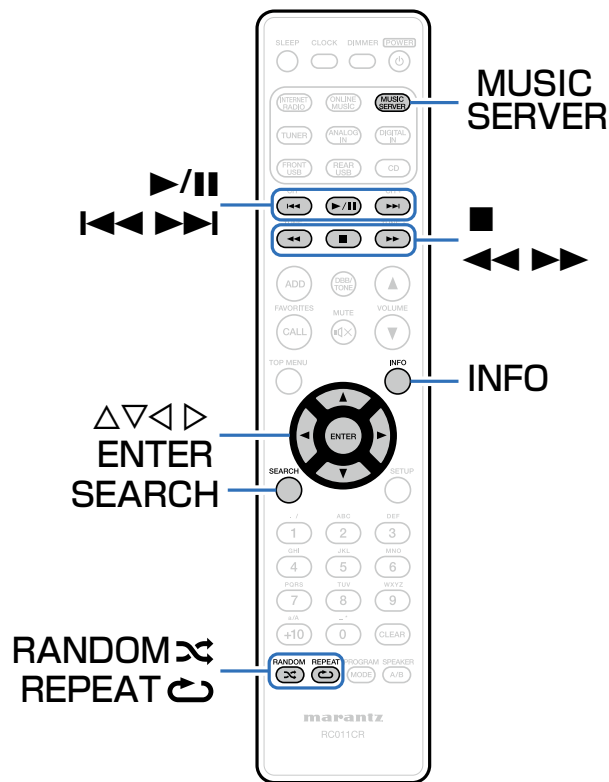
選択されたラジオ局が入ったお気に入りグループを新たに作成します。

 - vTuner のお気に入りに登録したインターネットラジオ局は、本機の“radiomarantz.com” (☞ 37ページ) から再生できます。

■ 再生できるファイルについて

「インターネットラジオ局の再生について」(☞ 107ページ)をご覧ください。

パソコンやNASに保存されているファイルを再生する



- 本機では、パソコンやDLNA対応のネットワーク接続ストレージ (NAS) に保存されている音楽ファイルやプレイリスト (m3u, wpl) を再生できます。
- 本機のネットワークオーディオ再生機能では、次の技術を利用してサーバーに接続します。
 - Windows Media Player Network Sharing Service
 - Windows Media DRM10
- 本機で再生できるファイルは、次のとおりです。
 - **WMA** (Windows Media Audio)
 - **MP3** (MPEG-1 Audio Layer-3)
 - **WAV**
 - **MPEG-4 AAC**
 - **FLAC** (Free Lossless Audio Codec)
 - **ALAC** (Apple Lossless Audio Codec)

メディアの共有設定をおこなう

パソコンやNASに保存されている音楽ファイルをネットワーク上で共有するための設定をおこないます。ミュージックサーバーを使用する場合は、事前に必ずこの設定をおこなってください。

■ Windows Media Player 12 (Windows 7/Windows 8) を使用する場合

- 1 パソコンでWindows Media Player 12を起動する。
- 2 “ストリーム” から “その他のストリーミング オプション...” を選ぶ。
- 3 “Marantz M-CR610” のドロップダウンリストで “許可” を選ぶ。
- 4 “このPCとリモート接続のメディアプログラム...” のドロップダウンリストで “許可” を選ぶ。
- 5 画面に従い、設定を終了する。

■ Windows Media Player 11を使用する場合

- 1 パソコンでWindows Media Player 11を起動する。
- 2 “ライブラリ” から “メディアの共有” を選ぶ。
- 3 “メディアを共有する” をチェックして “Marantz M-CR610” を選び、 “許可” をクリックする。
- 4 手順3と同様に、メディアコントローラーとして使用したい機器（他のパソコンやモバイル端末）のアイコンを選び、 “許可” をクリックする。
- 5 “OK” をクリックして終了する。

■ NASに保存したメディアを共有する

本機およびメディアコントローラーとして使用したい機器（他のパソコンやモバイル端末）がNASにアクセスできるようにNASの設定を変更してください。詳しくは、ご使用のNASに付属の取扱説明書をご覧ください。

パソコンやNASに保存されているファイルを再生する

音楽ファイルやプレイリストを再生できます。

1 再生の準備をする。

- ① ネットワーク環境を確認してから、本機の電源を入れる（[26ページ](#) 「ホームネットワーク（LAN）に接続する」）。
- ② パソコンの準備をする（[パソコンの取扱説明書](#)）。

2 MUSIC SERVERを押す。

3 Δ / ∇ を押して再生したいファイルのあるサーバーを選び、ENTERを押す。

4 Δ / ∇ を押してファイルを選び、ENTERを押す。 バッファリングが“100%”表示になると、再生をはじめます。

操作ボタン	機能
	再生/一時停止 ・フォルダを選択してから▶/ ボタンを押すと、そのフォルダ内のすべてのファイルを再生します。
	停止
	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ (長押し)
	早戻し/早送り*
FAVORITES CALL	お気に入りリストからの呼び出し
FAVORITES ADD	お気に入りリストへの追加
SEARCH	文字検索 ・リストがアルファベット順に並んでいない場合、文字検索ができないことがあります。
RANDOM	ランダム再生
REPEAT	リピート再生 ・1曲リピートと全曲リピートを切り替えます。
Δ / ∇ / \triangleleft / \triangleright	項目の選択
ENTER	選択項目の決定
INFO	ファイルタイプ/ビットレートやアーティスト名、アルバム名の表示の切り替え

* MP3/WAV/AAC/FLACファイルを再生中に操作できます。

■再生できるファイルについて

「パソコンやNASに保存されているファイルを再生する」
([P.108ページ](#))をご覧ください。

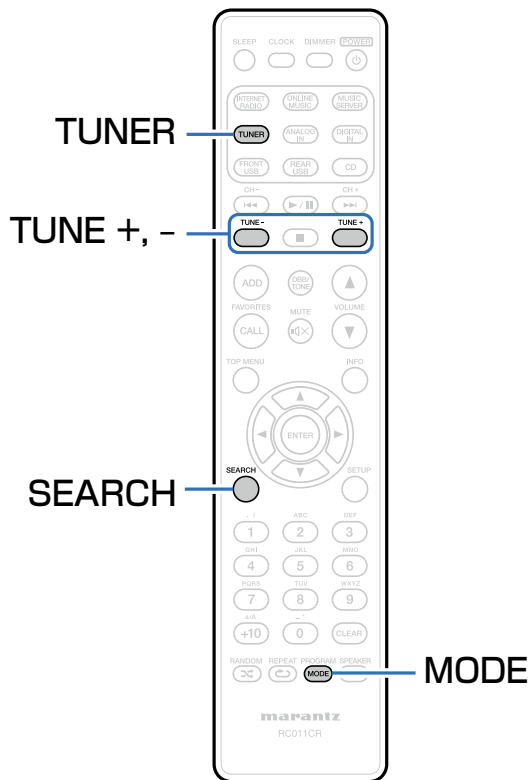


- Windows Media Player (バージョン11以上) などのトランスコードに対応したサーバーをご使用になる場合は、WMA Losslessファイルを再生できます。

ご注意


- 無線LANを経由して接続されたパソコンまたはNASで音楽ファイルを再生すると、無線LAN環境に応じて音声が中断されることがあります。この場合は、有線LANで接続してパソコンやNASとの音楽ファイルを再生してください。
- 曲の表示順は、サーバーの仕様によって異なります。サーバーの仕様によって、曲の表示順がアルファベット順にならない場合は、頭文字での検索が正しく動作しないことがあります。

FM/AM放送を聴く



アンテナの接続については、「FM/AMアンテナを接続する」(P.24ページ)をご覧ください。

FM/AM放送を聴く

- 1 TUNERを押して、受信バンドを選ぶ。
FM：FM放送を聴くときに選択します。
AM：AM放送を聴くときに選択します。
- 2 TUNE +またはTUNE -を押して、聴きたい放送局を選ぶ。
受信すると、表示が点灯します。

受信モードを変更する (チューニングモード)

受信モードを変更します。“オート”モード(AUTO)で自動的に放送局を受信できないときは、“マニュアル”モード(表示無し)に変更し、手動で放送局を受信してください。

1 FM放送局を受信中にMODEを押す。

オート(AUTO)：

自動的に受信できる放送局を探して受信するモードです。

マニュアル(表示無し)：

ボタン操作で1ステップずつ周波数を切り替えて受信するモードです。

FM放送局を自動的にプリセットする (オートプリセット)

お気に入りリストに最大50局の放送局を登録できます。お気に入りリストについては、「お気に入り機能」(P.46ページ)をご覧ください。

1 FM放送局を受信中にSEARCHを押す。

“オートプリセット”メニューを表示します。

2 △▽を押して“開始する”を選び、ENTERを押す。

自動で放送局を受信し、プリセットをはじめます。

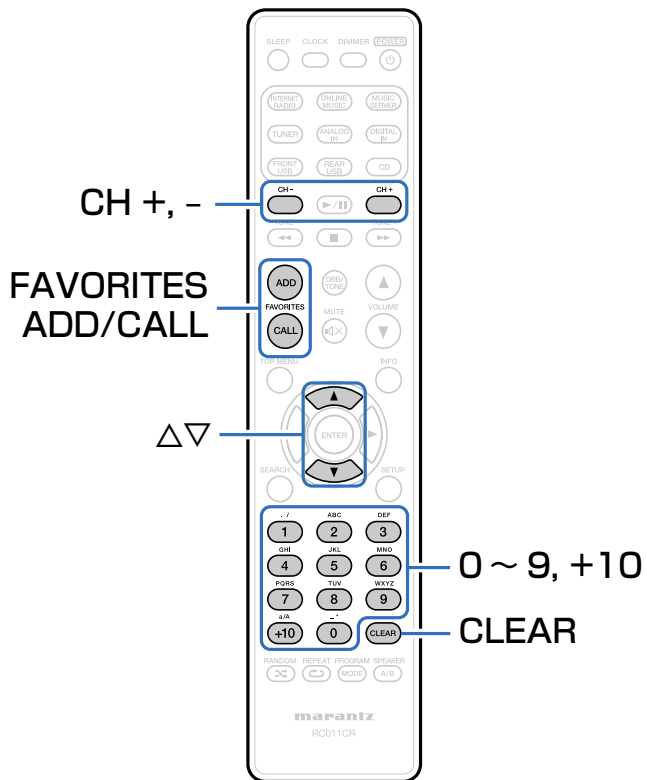
- プリセットが完了すると“設定を完了しました”を表示します。

操作ボタン	機能
TUNE +、-	選局(アップ/ダウン)
MODE	受信モードの変更(オート/マニュアル)
SEARCH	オートプリセット



- オートチューニングを停止するときは■を押してください。
- オートチューニングで聴きたい放送局を受信できない場合は、マニュアルチューニングで放送局を受信してください。
- お気に入りのリスト50個すべての項目が登録されると、追加登録ができません。

お気に入り機能



ここではお気に入り機能について説明します。

- お気に入り機能とは、好きな放送局やファイルをあらかじめお気に入りリストに登録することにより、いつでもすぐに好きな放送局やファイルを呼び出して聴くことができる機能です。
- 登録や呼び出しが可能なコンテンツは、インターネットラジオ、ミュージックサーバーとチューナーです。
- お気に入りリストには最大50個の放送局やファイルに登録できます。

放送局またはファイルをお気に入りリストに登録する

- 1 登録したい放送局やファイルを再生中に FAVORITES ADDを押す。
- 2 Δ ∇ を押して再生中の放送局またはファイルに登録する番号を選び、ENTERを押す。
“お気に入りに追加”を表示し、登録を完了します。

お気に入りリストに登録した放送局またはファイルを呼び出す

- 1 FAVORITES CALLを押す。
- 2 CH+, CH-または Δ ∇ を押して呼び出したい放送局またはファイルを選び、ENTERを押す。
各ソースに移行して、再生をはじめます。



- 0~9、+10を押すと、お気に入りに登録した放送局やファイルを番号で呼び出せます。

お気に入りリストに登録した放送局やファイルを再生中、登録した放送局またはファイルを切り替える

- 1 CH+, CH-または Δ ∇ を押す。

お気に入りリストから放送局またはファイルを削除する

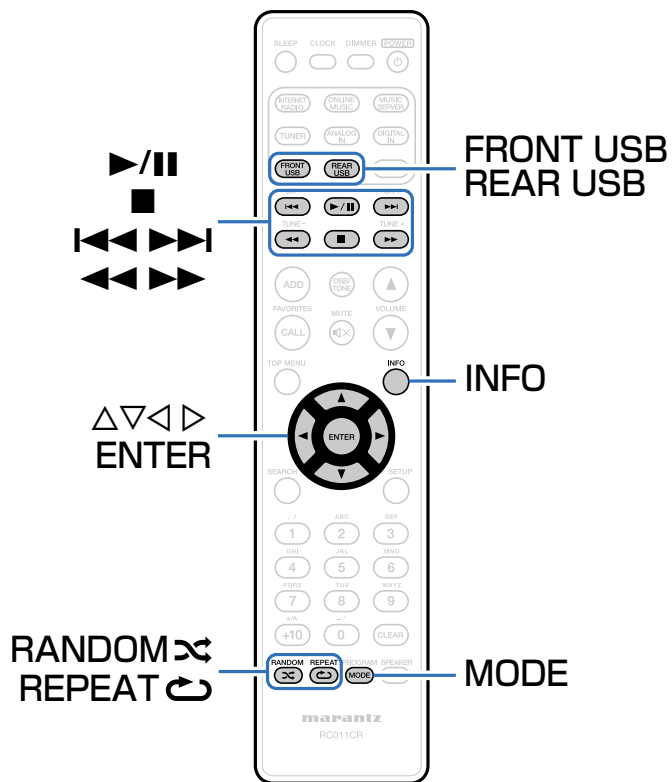
- 1 FAVORITES CALLを押す。
- 2 Δ / ∇ を押して削除したい放送局またはファイルを選び、CLEARを押す。
- 3 “削除しますか?”が表示されたら、ENTERを押す。
“削除しました。”を表示し、削除を完了します。



• 操作を中止するときは、 \triangleleft を押してください。

操作ボタン	機能
FAVORITES ADD	お気に入りリストへの追加
FAVORITES CALL	お気に入りリストからの呼び出し
CH+, CH- Δ / ∇	曲やファイルの切り替え (お気に入り再生中)
0~9, +10	ダイレクト選曲 (お気に入りリストを表示中)
CLEAR	お気に入りリストから削除する (お気に入りリストを表示中)

iPodを再生する



- iPodに付属しているUSBケーブルを使用してiPodを本機のUSB端子に接続すると、iPodの音楽を楽しむことができます。
- 本機で再生できるiPodは、「対応しているiPod/iPhone」(P.23ページ)をご覧ください。

iPodの音楽を聴く

1 iPodを本機のUSB端子に接続する ([図22ページ](#))。

iPodをフロントのUSB端子に接続すると、自動的に入力ソースが“Front USB”に切り替わります。

2 FRONT USBまたはREAR USBを押して、入力ソースを“Front USB”または“Rear USB”に切り替える。

本体のディスプレイに“Direct iPod”を表示します。

3 iPodの画面を見ながら直接iPod本体を操作して、音楽を再生する。



- iPodの表示モードには、“Direct iPod”と“Remote iPod”があります。お買い上げ時の設定は、iPodの画面を見ながら直接iPod本体を操作する“Direct iPod”です。
- iPodの情報を本機のディスプレイに表示させて操作する“Remote iPod”に変更したい場合は、「オペレーションモードの設定 (Remote iPodモード)」([図51ページ](#))をご覧ください。
- iPodの音楽は、「AirPlay機能」([図56ページ](#))を使用しても聴くことができます。

ご注意

- iPodの種類またはソフトウェアのバージョンによっては、機能の一部が動作しない場合があります。
- 万一iPodのデータが消失または損傷しても、当社は一切責任を負いません。

オペレーションモードの設定 (Remote iPodモード)

このモードでは、iPodの各種リストや再生中の表示を本機のディスプレイに表示します。
ここでは、“Remote iPod” でiPod内の曲を再生するまでの手順を説明します。

- 1 MODEを押して、“Remote iPod” を表示させる。
- 2 $\Delta \nabla$ を押して再生したいファイルを選び、ENTERを押す。
再生をはじめます。

表示モード		Direct iPod	Remote iPod
再生できる ファイル	音楽ファイル	✓	✓
	映像ファイル	*	
操作できる ボタン	本機の リモコン	✓	✓
	iPod	✓	

* 音声のみ再生します。

操作ボタン	機能
$\blacktriangleright / \parallel$	再生/一時停止
\blacksquare	停止
$\blacktriangleleft \blacktriangleleft \blacktriangleright \blacktriangleright$	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ (長押し)
$\blacktriangleleft \blacktriangleright$	早戻し/早送り
RANDOM ∞	ランダム再生
REPEAT \curvearrowright	リピート再生 ・1曲リピートと全曲リピートを切り替えます。
MODE	Remote iPodとDirect iPodを切り替えます。
$\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$	項目の選択
ENTER	選択項目の決定
INFO	アーティスト名とアルバム名の表示 切り替え



Direct iPodモードは、第1世代のiPod nanoおよびiPod videoには対応していません。

ご注意

- ・万が一iPodのデータを消失または損傷しても、当社は一切責任を負いません。
- ・iPodの種類またはソフトウェアのバージョンによっては、機能の一部が動作しない場合があります。

iPod/iPhoneの充電

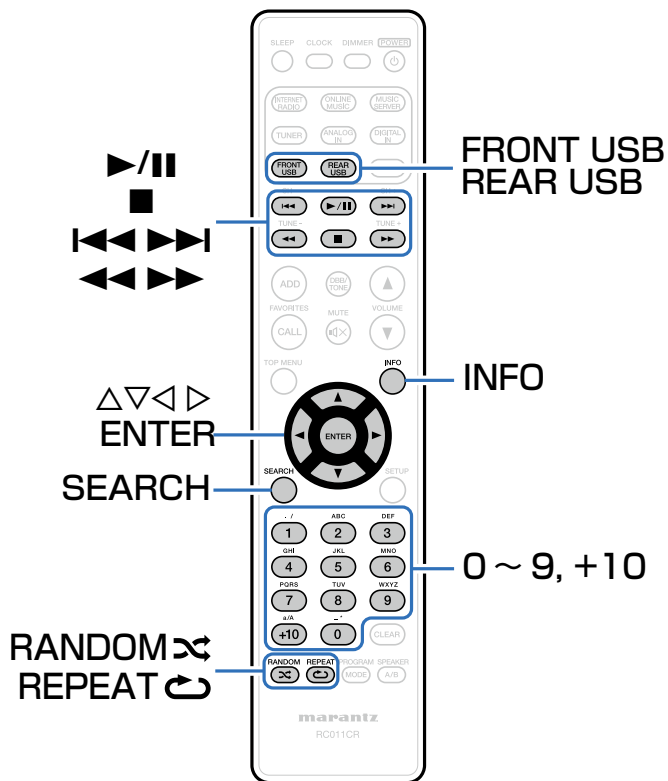
iPodやiPhoneをUSB端子に接続すると、充電ができます。

■ スタンバイ充電

iPodやiPhoneを充電中に本機がスタンバイ状態に入った場合、スタンバイ充電モードに切り替えて、iPodやiPhoneを充電します。スタンバイ充電モードでは、スタンバイ表示が赤色に変わります。

iPodやiPhoneが完全に充電されると、スタンバイ表示が消灯し、通常のスタンバイ状態になります。

USBメモリーを再生する



- USBメモリーに保存されている音楽ファイルを再生できます。
- 本機は、マストレージクラスおよびMTP (Media Transfer Protocol) に対応しているUSBメモリーのみ再生できます。
- USBメモリーは、FAT16またはFAT32フォーマットに対応しています。
- 本機で再生できるファイルは、次のとおりです。
 - WMA (Windows Media Audio)
 - MP3 (MPEG-1 Audio Layer-3)
 - WAV
 - MPEG-4 AAC
 - FLAC (Free Lossless Audio Codec)
 - ALAC (Apple Lossless Audio Codec)

USBメモリーに保存されているファイルを再生する

1 USBメモリーを本機のUSB端子に接続する ([P.22](#)ページ)。

USBメモリーをフロントのUSB端子に接続すると、自動的に入力ソースが“Front USB”に切り替わります。

2 FRONT USBまたはREAR USBを押して、入力ソースを“Front USB”または“Rear USB”に切り替える。

3 Δ / ∇ を押して再生したいファイルを選び、ENTERを押す。 再生をはじめます。

操作ボタン	機能
	再生/一時停止 ・フォルダを選択してから▶/ ボタンを押すと、そのフォルダ内のすべてのファイルを再生します。
	停止
	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ (長押し)
	早戻し/早送り*
RANDOM	ランダム再生
REPEAT	リピート再生 ・1曲リピートと全曲リピートを切り替えます。
SEARCH	文字検索 ・リストがアルファベット順に並んでいない場合、文字検索ができないことがあります。
Δ / ∇ / \triangleleft / \triangleright	項目の選択
ENTER	選択項目の決定
INFO	アーティスト名とアルバム名の表示切り替え

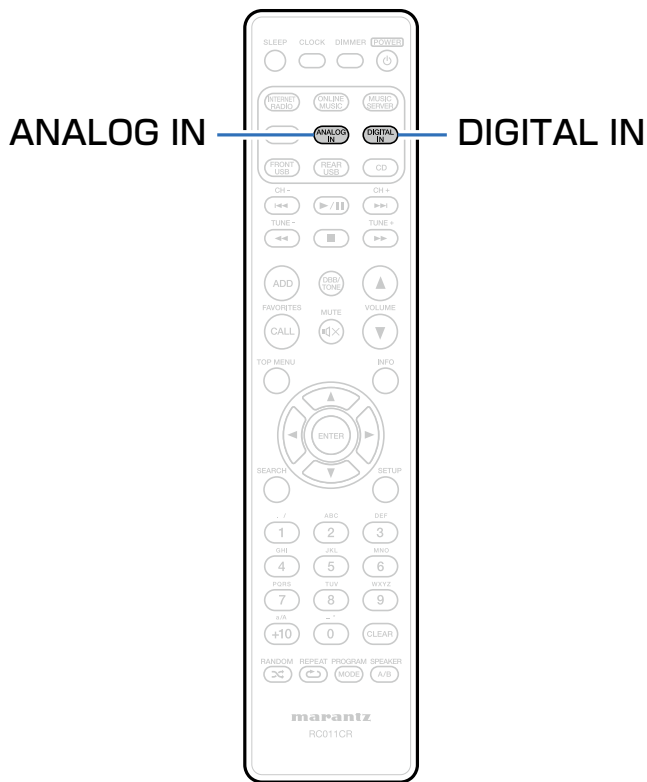
* MP3/WAV/AAC/FLACファイルを再生中に操作できます。

ご注意

- ・USBメモリーを本機と接続して使用しているときに、万一USBメモリーのデータが消失または損傷した場合、当社は一切責任を負いません。

■再生できるファイルについて

「USBメモリーを再生する」([P.106](#)ページ)をご覧ください。



アナログ入力で聴く

- 1 再生の準備をする。
接続を確認して、本機の電源を入れてください。
- 2 ANALOG INを押して、“Analog In 1”または“Analog In 2”を選ぶ。
- 3 本機に接続した機器を再生する。

デジタル入力で聴く

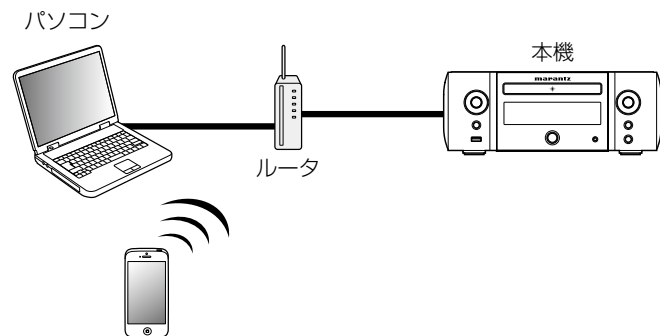
- 1 再生の準備をする。
接続を確認して、本機の電源を入れてください。
- 2 DIGITAL INを押して、“Digital In”を選ぶ。
- 3 本機に接続した機器を再生する。



- 本機のデジタル入力端子に入力できるデジタル音声信号は、2チャンネルリニアPCMのみです。

AirPlay機能

iPhone、iPod touch、iPadやiTunesに保存されている音楽ファイルを、ネットワークを経由して本機で再生できます。

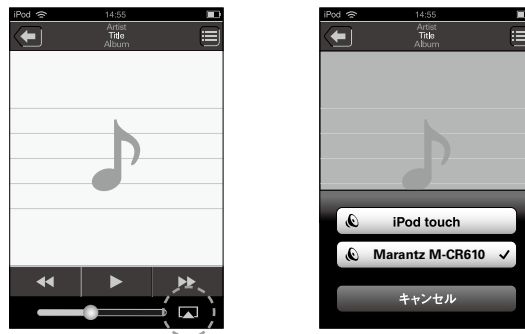


iPhone、iPod touch、iPadの音楽ファイルを本機で再生する

iPhone、iPod touch、iPadをiOS 4.2.1以上にアップデートすると、iPhone、iPod touch、iPadの曲を本機へダイレクトにストリーミングできます。

- 1 iPhone、iPod touchまたはiPadのWi-Fi設定を本機と同じネットワークに接続する。
・詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。
- 2 iPhone、iPod touch、iPadの曲を再生する。
iPhone、iPod touchまたはiPadの画面に  を表示します。
- 3 AirPlayアイコン  をタップする。

- 4 再生したいスピーカー（機器）をクリックする。




iTunesの音楽を本機で再生する

1 本機と同じネットワークに接続しているパソコンに、iTunes 10以降をインストールする。

2 本機の電源を入れる。
あらかじめ本機の“ネットワーク制御”（[図83ページ](#)）の設定を“オン”にしてください。

ご注意

- 設定メニューの“ネットワーク制御”を“オン”に設定している場合は、スタンバイ時の待機電力を多く消費します。


3 iTunesを起動し、画面右下のAirPlayアイコン  をクリックして、本機を選ぶ。



4 iTunesで曲を選び、再生する。
本機で再生をはじめます。

複数のスピーカー（機器）を選ぶ

ご家庭にある本機以外のAirPlay対応のスピーカー（機器）でiTunesの曲を再生できます。

1 AirPlayアイコン  をクリックして、“複数の”を選ぶ。

2 再生したいスピーカー（機器）をクリックする。



ご注意

- AirPlay機能を使用して再生する場合は、iPhone、iPod touch、iPadまたはiTunesで設定している音量で出力します。
- 再生する前に、iPhone、iPod touch、iPadまたはiTunesの音量を最小にしてから適切な音量に調節してください。

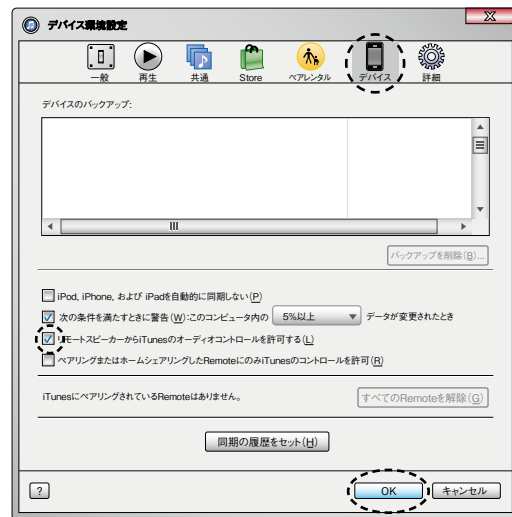
本機のリモコンでiTunesの再生操作をおこなう

本機のリモコンで、iTunesの曲の再生や一時停止、頭出し操作ができます。

- 1 メニューの“編集” ⇨ “設定” を選ぶ。
- 2 iTunesの設定のウィンドウで“デバイス”を選ぶ。
- 3 “リモートスピーカーからiTunesのオーディオコントロールを許可する”にチェックを入れ、“OK”をクリックする。



- AirPlayの再生を開始すると、本機の入力ソースは自動的に“AirPlay”に切り替わります。
- リモコンまたは本体の◀を押すか他の入力ソースに切り替えると、AirPlayの再生が停止します。
- 本体のINFOを押すと、アーティスト名とアルバム名を確認できます。
- iTunesの使用方法は、iTunesの“ヘルプ”をご覧ください。
- 画面は、OS やソフトのバージョンによって異なる場合があります。



リモートプレイ機能

ご家庭のネットワークを使用してパソコンやNASに保存している音楽ファイル、スマートフォンやポータブルオーディオプレーヤーに保存している音楽ファイルを本機で再生できます。このとき、操作はパソコン、スマートフォンまたはポータブルオーディオプレーヤーで操作します。



- それぞれの機器が DLNA (Digital Living Network Alliance) の Ver. 1.5 規格に準拠している必要があります。
- スマートフォンやポータブルオーディオの再生にはワイヤレス LAN の環境が必要です。
- スマートフォンによっては、DLNA の音楽再生のためのアプリをインストールする必要がある場合があります。

■ それぞれの機器の役割

Remote play には次の機器を使用します。DLNA 規格上、それぞれの役割によって DMC、DMS、DMR と呼びます。

呼称	機器例	役割
DMC (Digital Media Controller)	• パソコン • スマートフォン • ポータブルオーディオプレーヤー • Marantz Remote App	Remote play の操作をします。 これらの機器に保存している音楽ファイルを再生することもできます。
DMS (Digital Media Server)	• パソコン • NAS (Network Attached Storage)	音楽ファイルを保存します。 DMCでこれらの機器に保存している音楽ファイルを再生操作します。
DMR (Digital Media Renderer)	• 本機	Remote play で再生した音楽ファイルをスピーカーから出力します。再生操作はできません。

■ 再生できるファイルについて

「パソコンやNASに保存されているファイルを再生する」
(108ページ)をご覧ください。

それぞれの機器に必要な設定

リモートプレイ
Remote play 再生をおこなうためには、DMCとDMSの設定が必要です。次の設定をおこなってください。なお、設定については各機器の取扱説明書をご覧ください。

■ パソコンやNASの設定

パソコンやNASがDMS機器やDMR機器とデータのやり取りができるように設定をします。

設定のしかたは、「メディアの共有設定をおこなう」
([P.41](#)ページ)をご覧ください。

■ スマートフォンの設定

スマートフォンからDMSや本機（DMR）を操作するために、スマートフォンにDLNAの音楽再生のためのアプリをインストールする必要があります。これらの適応アプリはスマートフォンによって異なります。



・一部のスマートフォンではお買い上げ時からDLNA音楽再生に対応している機種もあります。スマートフォンの取扱説明書でご確認ください。

■ ポータブルオーディオプレーヤーの設定

ポータブルオーディオプレーヤーの音楽ファイルを本機（DMR）で再生するための設定をおこないます。設定のしかたは、各ポータブルオーディオプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

■ 本機の設定

DLNA ネットワークに接続します。それ以外の設定の必要はありません。

ネットワークの接続については、別冊の「かんたん設定ガイド」または「ホームネットワーク（LAN）に接続する」([P.26](#) ページ)、「詳細な設定」([P.84](#) ページ)をご覧ください。

リモートプレイ ■ Remote play の操作

操作のしかたは、それぞれの機器によって異なりますが、Remote play のための準備の手順は同じです。ここでは準備する手順を説明します。

1 本機の電源をオンにする。

- 本機がネットワークに接続できることを確認してください。


2 DMCの音楽ファイル再生画面を表示する。

- パソコンをご使用の場合は、Windows Media Player 12などを開いてください。
- スマートフォンをご使用の場合は、音楽ファイルの再生モードに切り替えてください。


3 再生画面の再生機器を設定する項目で、本機のフレンドリ名を選ぶ。

- 本機のお買い上げ時のフレンドリ名は、“Marantz M-CR610”です。

4 DMCで音楽ファイルの再生をはじめます。

- 本機の入力ソースが自動的に“Music Server”に切り替わり、ディスプレイにを表示して Remote play をはじめます。



- Remote play 機能を解除するときは  を押してください。

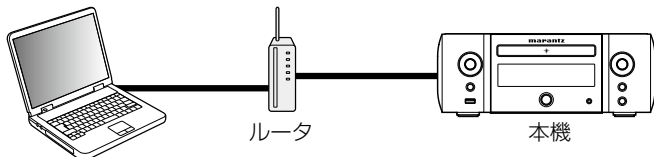
ご注意

- Remote play 中に本機での再生操作はできません。DMC 機器で操作してください。

ウェブコントロール機能

ブラウザに表示されるウェブコントロール画面を使用して、本機を操作できます。

パソコン



- ウェブコントロール機能をご使用になるには、本機とパソコンがネットワークに正しく接続されている必要があります（[26ページ](#)「ホームネットワーク（LAN）に接続する」）。
- セキュリティソフトなどの設定により、パソコンから本機にアクセスできないことがあります。そのような場合には、セキュリティソフトの設定を変更してください。

ウェブコントロール機能で本機をコントロールする

- 1 設定メニューの“ネットワーク制御”（[83ページ](#)）の設定を“オン”にする。
- 2 設定メニューの“ネットワーク情報”（[83ページ](#)）で、本機のIPアドレスを確認する。



- 3 ブラウザを起動する。

4 ブラウザのアドレスボックスに、本機のIPアドレスを入力する。

例えば、本機のIPアドレスが“192.168.0.2”の場合は、“http://192.168.0.2”と入力してください。

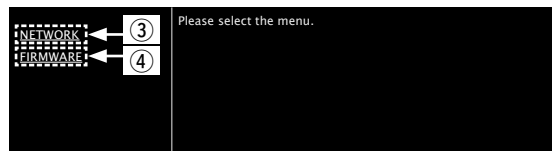


- ① IPアドレスを入力します。
- ② Safari ブラウザをご使用になる場合は、“Bonjour”を選択するとウェブコントロール画面に直接アクセスできます。



- ブラウザのブックマーク機能で本機のIPアドレスを登録しておく、次回からブックマーク機能を使用してウェブコントロール画面を表示できます。ただし、DHCPサーバーをご使用の場合は、「ネットワーク制御」(83ページ)の設定が“オフ”のときに電源をオン/オフすると、IPアドレスが変更になりますのでご注意ください。

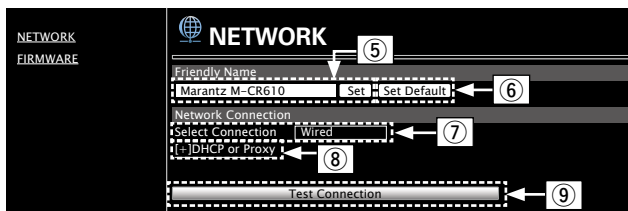
5 トップメニューが表示されたら、操作したいメニューをクリックする。



- ③ ネットワークの設定時にクリックします。
(例 1)
- ④ ファームウェア更新時にクリックします (66ページ)。

6 操作する。

【例 1】ネットワーク設定1



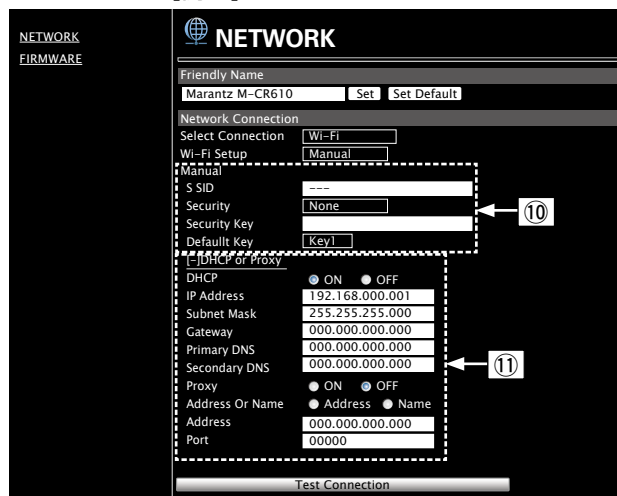
□ フレンドリ名 (Friendly Name) の設定

- ⑤ フレンドリ名を変更するときは、テキストボックスに新しいフレンドリ名を入力し、“Set” をクリックします。
- ⑥ フレンドリ名をリセットするときは、“Set Default” をクリックします。

□ ネットワーク接続設定

- ⑦ 接続方法を選択するときにクリックします。“Wi-Fi” を選択すると新たな項目を画面に表示します。
(☞【例 2】)
- ⑧ DHCPやプロキシを設定するときにクリックします。
(☞【例 2】)
- ⑨ 設定を反映し接続を開始するときにクリックします。

【例 2】ネットワーク設定2



□ ネットワーク接続設定

- ⑩ **【例 1】** -⑦ で “Wi-Fi” を選択したときに表示します。各項目を選択または入力した後、“Test Connection” をクリックして設定を反映してください。
- 選択項目や接続状態により表示される項目が変わります。
 - 各項目を選択したあとは、表示が更新されるまでしばらくお待ちください。
- ⑪ **【例 1】** -⑧ で “DHCP” または “プロキシ” を選択したときに表示します。DHCPやプロキシの設定を変更するときは、各項目を入力または選択してください。



- ネットワーク接続の設定を反映させるためには、最後に “Test Connection” をクリックしてください。

■ ウェブブラウザでのアップデート

「ウェブコントロール機能」(☞63ページ)でもファームウェアをアップデートできます。あらかじめ同じネットワーク内にあるパソコンに「ウェブコントロール機能」(☞63ページ)の設定をおこなってください。アップデートファイルの入手方法は、当社の修理・サービス窓口にお問い合わせください。

1 「ウェブコントロール機能」(☞64ページ)の手順5の④をクリックする。

パソコンに次の画面を表示します。

この状態で約1分間待ちます。

または、本体に表示するIPアドレスをウェブブラウザに入力してアクセスします。

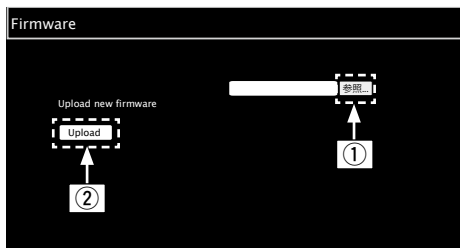
【ウェブブラウザの表示】



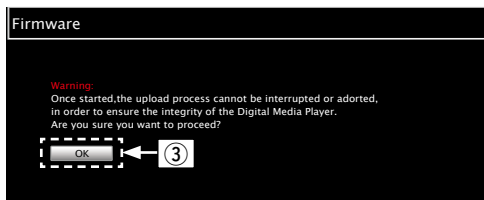
【本機の表示】

IpAddress
192.168.xxx.xxx

2 次の画面を表示後、“参照...” (①) をクリックし、アップデートファイルを選び、“Upload” (②) をクリックする。



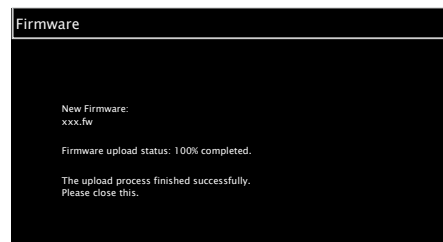
3 “OK” (③) をクリックする。
アップデートをはじめます。



ご注意

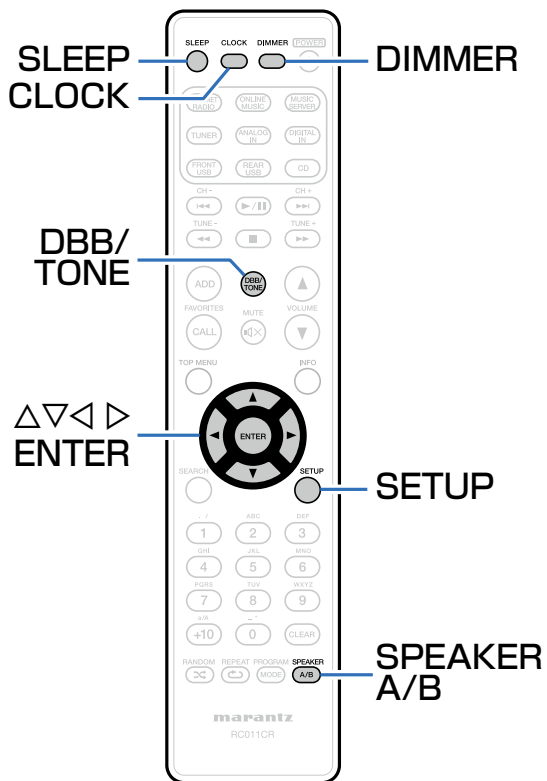
- アップデート中は、本体の操作をしないでください。

4 次の画面が表示されたらアップデートは完了です。



- ボタン名はパソコン上で使用するOSの言語で異なる場合があります。

その他の機能



マルチドライブ接続をして2つの部屋で音楽を聴く(☞69ページ)

音質を調節する(☞71ページ)

スリープタイマーを設定する(☞72ページ)

現在の時刻を確認する(☞72ページ)

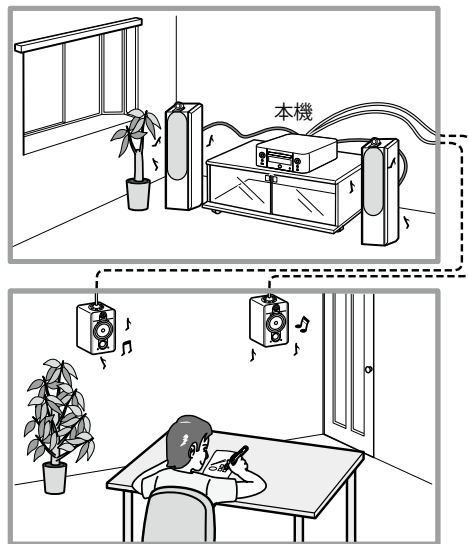
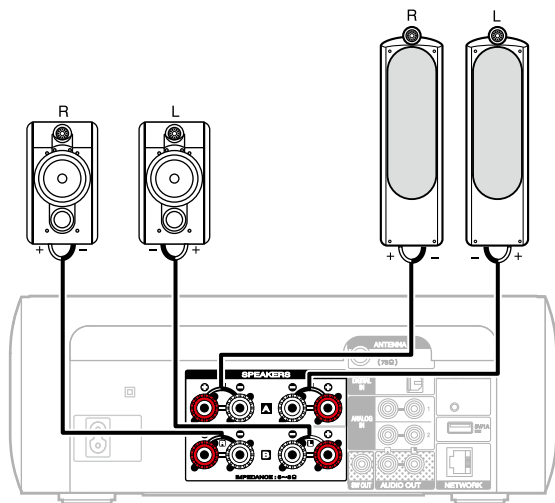
ディスプレイの明るさを切り替える(☞72ページ)

マルチドライブ接続をして2つの部屋で音楽を聴く

本機とスピーカーシステムを2組使用して別室で音楽を聴くことができます。

■ スピーカーケーブルを接続する

本機とご使用になるスピーカーの左チャンネル (L)、右チャンネル (R)、+ (赤)、- (黒) をよく確認して、同じ極性を接続してください。



■ 音声を出力するスピーカーを選択する

スピーカー A またはスピーカー B から音声を出力させるか、スピーカー A、スピーカー B の両方から出力させるかを設定します。

1 SPEAKER A/Bを押す。

現在の設定状態を表示します。

2 SPEAKER A/Bを何回か押して設定を選ぶ。

スピーカーAが有効になりました：

スピーカーAからのみ音声を出力します。

スピーカーBが有効になりました：

スピーカーBからのみ音声を出力します。

スピーカーAとBが有効になりました：

スピーカーAとBの両方から音声を出力します。



- この接続をおこなう場合は、設定メニューの“バイアンプ”を“無効”に設定してください（[図79ページ](#)）。
- スピーカーAの音量を固定したまま、スピーカーBの音量を調整できます（[図80ページ](#) “音量調整”）。

音質を調節する

1 DBB/TONEを押して、調節する項目を選ぶ。

2 Δ / ∇ を押して、“Dynamic Bass Boost”、“低音”、“高音”、“バランス”または“ソースダイレクト”を調節する。

Dynamic Bass Boost

低音を10dB強調します。

オン/オフ（お買い上げ時の設定：オフ）

低音

低音を調節します。

-10dB~+10dB（お買い上げ時の設定：0dB）

高音

高音を調節します。

-10dB~+10dB（お買い上げ時の設定：0dB）

バランス

\triangleleft / \triangleright を押して、左右の音量バランスを調節します。

ソースダイレクト

音質の調節をおこないません。

オン/オフ（お買い上げ時の設定：オフ）



- 176.4kHz以上のサンプリング周波数の音源では、“Dynamic Bass Boost”、“低音”、“高音”および“レスポンス”の設定は無効になります。


スリープタイマーを設定する

設定した時間が経過すると、自動的に電源をスタンバイにすることができます。視聴しながらおやすみになるときに便利です。

1 再生中にSLEEPを押して、設定時間を選ぶ。

- ディスプレイの表示が点灯します。
- 10分～90分の範囲で、10分間隔で設定できます。

■ スリープタイマーを解除する

SLEEPを押して“Sleep ▶ オフ”を選ぶ。
ディスプレイの表示が消灯します。



- 本機の電源がスタンバイになると、スリープタイマーの設定を解除します。
- スリープタイマーが動作するまでの残り時間を確認するときは、SLEEPを押してください。

現在の時刻を確認する

■ 電源オンのときに現在の時刻を確認する

- CLOCKを押す。
- もう一度CLOCKを押すと通常の表示に戻ります。

■ 電源がスタンバイ状態のときに現在の時刻を確認する

- CLOCKを押す。
- 現在の時刻を約30秒間表示します。

ご注意

- 電源がスタンバイ状態のときは、時刻設定ができません。電源を入れてからおこなってください。

ディスプレイの明るさを切り替える

1 DIMMERを押す。

- ボタンを押すたびに、ディスプレイの明るさが切り替わります（5段階）。



- ディスプレイが消灯しているときにボタン操作をおこなうと、輝度を落として一時的に情報を表示します。

設定のしかた

メニュー 一覧

メニューの操作をおこなうときは、参照ページをご覧ください。

本機はお買い上げ時の設定をおすすめの設定にしています。ご使用のシステムやお好みに合わせて本機をカスタマイズすることができます。

■ かんたん設定

設定項目	内 容	参照ページ
かんたん設定	ネットワークの各種設定をウィザード形式で表示します。 操作のしかたは、別冊の「かんたん設定ガイド」をご覧ください。	-

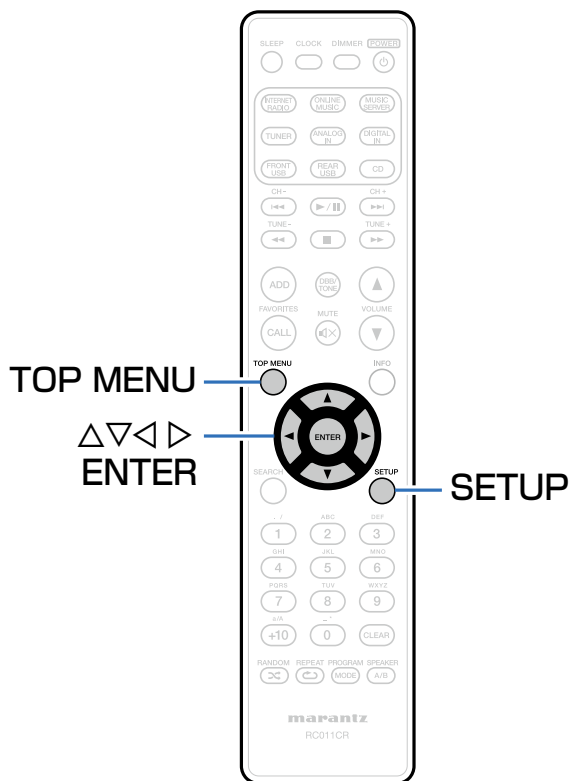
■ 一般

設定項目	内 容	参照ページ
アラーム	アラーム再生を設定します。	<u>78</u>
時計	現在の時刻を設定します。	<u>79</u>
スピーカー設定	ご使用になるスピーカーに合わせた、スピーカー出力の特性変更や設定をします。	<u>79</u>
バイアンプ	バイアンプ機能の設定をします。	<u>79</u>
レスポンス	スピーカー出力の周波数特性を設定します。	<u>79</u>
音量調整	スピーカーAを基準にしたときのスピーカーBの音量補正をおこないます。	<u>80</u>
言語	ディスプレイに表示する言語を選択します。	<u>80</u>
オートスタンバイ	未使用時に自動的にスタンバイにします。	<u>80</u>
ファームウェア	ファームウェアの最新アップデート情報の確認や更新の実施、およびアップデートとアップグレードの通知メッセージを表示するかしないかの設定をします。	<u>80</u>
アップデート	本機のファームウェアをアップデートします。	<u>80</u>
お知らせ機能	アップデート、アップグレードの通知メッセージやその他のお知らせを表示するかしないかの設定をします。	<u>81</u>
新機能の追加	本機にダウンロード可能な新機能を表示し、アップグレードします。	<u>81</u>

■ ネットワーク

設定項目	内 容	参照ページ
ネットワーク情報	ネットワークの情報を表示します。	83
ネットワーク制御	電源がスタンバイ状態でのネットワーク機能の設定をします。	83
フレンドリ名	フレンドリ名は、ネットワーク上に表示される本機の名称で、お好みによって変更できます。	83
詳細な設定	有線または無線LANの設定をします。	84
有線LANを設定	有線LANの設定をします。	84
DHCP (オン) またはDHCP (オフ)	DHCPの設定をします。	84
IP アドレス*	IP アドレスの設定をします。	84
サブネットマスク*	サブネットマスクを入力します。	84
ゲートウェイ*	ゲートウェイの設定をします。	84
プライマリーDNS*	プライマリDNSを入力します。	84
セカンダリDNS*	セカンダリDNSを入力します。	84
プロキシ	プロキシの設定をします。	85
接続を開始	有線LANへ接続します。	85
Wi-Fiの設定方法	無線LANの設定をします。	85
自動検索	Wi-Fi接続をアクセスポイント一覧から選択し、設定します。	85
WPS (Wi-Fi Protected Setup)	Wi-Fi接続をWPS 方式で設定します。	86
WEBブラウザ設定	Wi-Fi接続をウェブブラウザを使用して設定します。	86
手動設定	Wi-Fi接続を手動で設定します。	88

* “DHCP” の設定が“オフ” のときに表示します ([84ページ](#)) 。



メニューの操作のしかた

- 1 **SETUP**を押す。
メニューを表示します。
- 2 **△▽◀▶**を押して設定または操作したいメニューを選び、**ENTER**を押す。
- 3 **△▽**を押して、お好みの設定に変更する。
- 4 **ENTER**を押して、設定を確定する。
 - 前の項目に戻るときは、◀を押してください。
 - メニューを終了するときには、メニュー表示中に**SETUP**を押してください。
メニュー表示が消灯します。
 - メニュー操作中にメニューの先頭に戻るときは、**TOP MENU**を押してください。

文字入力について

本機は、次の画面に表示する名前をお好みに合わせて変更できます。

- 文字検索 (P.37、42、54ページ)
- ネットワーク機能に関する文字入力 (P.37ページ)
- フレンドリ名の編集 (P.83ページ)

数字ボタンで入力する

- 1 文字の入力をおこなう画面を表示する。
 - 文字を変更する場合は、<▶>を押して変更したい文字にカーソルを合わせてください。
- 2 +10を押して、文字の種類（大文字、小文字、数字）を切り替える。
- 3 入力したい文字が表示されるまで、0~9、+10を押す。
 - 入力できる文字の種類は、次のとおりです。

1 ., / ~ 1	6 MNO mnoMNO6
2 ABC abcABC2	7 PQRS pqrsPQRS7
3 DEF defDEF3	8 TUV tuvTUV8
4 GHI ghiGHI4	9 WXYZ wxyzWXYZ9
5 JKL jklJKL5	0 (空白) ! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? [\] ^ _ ` { } ~

- 文字を入力後約1秒間経過すると、入力された文字を確定し、カーソルが右に移動します。

- 4 手順2、3をくり返して名前を変更し、ENTERを押して確定する。

カーソルボタンで入力する

- 1 文字の入力をおこなう画面を表示する。
 - 文字を変更する場合は、<▶>を押して変更したい文字にカーソルを合わせてください。
- 2 △▽を押して、文字を切り替える。
 - 入力できる文字の種類は、次のとおりです。

[小文字]
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
[大文字]
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
[記号] ! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @
[\] ^ _ ` { | } ~
[数字] 0123456789 (空白)

- 文字を入力後約1秒間経過すると、入力された文字を確定し、カーソルが右に移動します。

- 3 手順2をくり返して名前を変更し、ENTERを押して確定する。



- 文字を削除するときは、CLEARを押してください。
- スペースを入れるときは、▶▶を押してください。

一般

その他の設定をします。

アラーム

アラームを1回のみ動作させるか、毎日動作させるかを設定します。

■ 一度きり

時刻表示：アラームを1回のみ動作させます。

オフ：アラームを動作させません。

■ 毎日

時刻表示：アラームを毎日動作させます。

オフ：アラームを動作させません。

■ アラームを編集

一度きりのアラーム、または毎日のアラームを編集します。

- 1 △▽を押してアラームモードを選び、ENTERを押す。
- 2 △▽を押してアラーム開始時刻を設定し、ENTERを押す。
- 3 △▽を押して入力ソースを選び、ENTERを押す。
- 4 △▽を押して音量の“0 - 60”を選び、ENTERを押す。
“設定を完了しました”を表示し、設定が完了します。
 - 電源をスタンバイ状態にするとアラームスタンバイモードになり、スタンバイ表示がオレンジ色に点灯します。

時計

■現在の時刻の合わせかた

本機はインターネットを利用して自動的に現在時刻を合わせることができます。



- この機能をご使用になるときは、インターネットに接続する必要があります。

- 1 △▽を押して、あなたの住んでいる地域の標準時刻を選び、ENTERを押す。

スピーカー設定

ご使用になるスピーカーに合わせた、スピーカー出力の特性変更や設定をします。

■バイアンプ

スピーカーA/B端子を使用して、バイアンプ駆動対応スピーカーからの音声出力が可能です。

有効：バイアンプ機能を有効にします。

無効（お買い上げ時の設定）：

バイアンプ機能を無効にします。スピーカーAとスピーカーBの切り替えが可能です。

■レスポンス

スピーカー出力の周波数特性を切り替えます。

フラット（お買い上げ時の設定）：フラットな特性です。

レスポンス1：60Hz以下を-12dB/octで低域をカットします。

レスポンス2：100Hz以下を-12dB/octで低域をカットします。

レスポンス3：60Hz以下を-12dB/octで低域をカットし、さらに400Hz付近を3dB上げます。

レスポンス4：100Hz以下を-12dB/octで低域をカットし、さらに400Hz付近を3dB上げます。



- “レスポンス”の設定は、ヘッドホン出力やオーディオ出力、サブウーハー出力には反映されません。

■ 音量調整

スピーカーAを基準にしたときのスピーカーBの音量補正をおこないます。

-6dB / 0dB / +6dB (お買い上げ時の設定：0dB)



- この接続をおこなう場合は、設定メニューの“バイアンプ”を“無効”に設定してください(79ページ)。

言語

ディスプレイに表示する言語を選択します。

日本語 / English (お買い上げ時の設定：日本語)

オートスタンバイ

“オートスタンバイ”を“オン”に設定し、停止状態で約15分間操作しない状態が続くと、本機は自動的にスタンバイ状態になります。

入カソースが“Analog In 1”、“Analog In 2”、“Tuner”および“Direct iPod”の場合は、本機を約8時間操作しない状態が続くと本機は自動的にスタンバイ状態になります。

オン：約15分後にスタンバイ状態になります。

オフ (お買い上げ時の設定)：自動的にスタンバイ状態になりません。

ファームウェア

ファームウェアの最新アップデート情報の確認や更新の実施、およびアップデート、アップグレードやお知らせの通知メッセージを表示するかしないかの設定をします。

■ アップデート

本機のファームウェアをアップデートします。

アップデートの確認：ファームウェアが最新かどうかの確認ができます。

アップデート開始：アップデートを実行します。



- アップデートに失敗しても、本機は自動的にアップデートを再試行します。

■ お知らせ機能

最新のファームウェアが利用可能であるときや、その他のお知らせがある場合に、パワーオン時に画面に表示します。

アップデート

オン（お買い上げ時の設定）：アップデートの通知を表示します。

オフ：アップデートの通知を表示しません。

アップグレード

オン（お買い上げ時の設定）：アップグレードの通知を表示します。

オフ：アップグレードの通知を表示しません。

その他のお知らせ

オン（お買い上げ時の設定）：当社からのお知らせを表示します。

オフ：当社からのお知らせを表示しません。

■ 新機能の追加

本機にダウンロード可能な新機能を表示し、アップグレードします。

アップグレードパッケージ：アップグレードする項目を表示します。

アップグレード状態：アップグレードによって追加された機能の一覧を表示します。

アップグレード開始：アップグレードを実行します。アップグレードを開始すると、メニュー画面をシャットダウンします。アップグレード中は、ディスプレイに経過時間を表示します。

アップグレードID：お手続きの際に必要なID番号を表示します。



- アップグレードをご利用になる場合の詳細については、当社ホームページをご覧ください。
- お手続きが完了すると、このメニューに“登録完了”と表示され、アップグレードすることができます。お手続きされていない場合は、“未登録”を表示します。

“アップデート” および “新機能の追加” をおこなったとき の注意

- これらの機能を使用するためには、インターネットブロードバンドに接続できる環境と設定が必要です（[P.26ページ](#)）。
- 新機能の追加の操作は本機の電源をオンにして2分以上経過してからおこなってください。
- アップデートやアップグレードが終わるまで、絶対に電源を切らないでください。
- アップデートやアップグレードが完了するまでに、ブロードバンド接続でも20分程度の時間がかかります。
- 一旦アップデートやアップグレードを開始すると、本機は完了するまで通常の操作ができなくなります。本機に設定したパラメーターなどのバックアップデータを初期化する場合があります。
- アップグレードが失敗した場合には、“Update failed” や “Download failed” などをディスプレイに表示します。電源コードを挿し直してください。ディスプレイに “Update Retry” を表示し、失敗したところから更新を再開します。それでも失敗が続く場合は、ネットワークの環境を確認してください。



- “アップデート” および “新機能の追加” に関する情報は、当社ホームページなどで告知する予定です。

ネットワーク

本機をホームネットワーク（LAN）に接続して使用できるようにするためには、ネットワークの設定をおこなう必要があります。DHCPでホームネットワークを構築している場合は、“DHCP”を“オン”に設定します（お買い上げ時の設定のまま使用してください）。これにより、ホームネットワークを使用できるようになります。

各機器にIPアドレスを割り当てている場合は、“IPアドレス”の設定で本機にIPアドレスを割り当て、ゲートウェイアドレスやサブネットマスクなど、ご使用のホームネットワークに関する情報を入力する必要があります。

ネットワーク情報

ネットワークの情報を表示します。

フレンドリ名 / DHCP On または Off / IPアドレス /
MACアドレス / SSID*

* Wi-Fi接続しているときのみ表示します。

ネットワーク制御

電源がスタンバイ状態でのネットワーク機能の設定をします。

オン：スタンバイ時にネットワーク機能を使用できます。ネットワーク対応のコントローラーを使用して本機を操作できます。

オフ（お買い上げ時の設定）：スタンバイ時はネットワーク機能を使用できません。



- ウェブコントロール機能や、ネットワーク対応のコントローラーをご使用になる場合は、“ネットワーク制御”の設定を“オン”にしてください。

ご注意

- “ネットワーク制御”を“オン”に設定している場合は、スタンバイ時の待機電力を多く消費します。

フレンドリ名

フレンドリ名とは、ネットワーク上に表示される本機の名称です。フレンドリ名はお好みで変更できます。

■ フレンドリ名の選択

リストからフレンドリ名を選択します。

AV Room / Bedroom / Dining Room / Family Room /
Guest Room / Kids Room / Kitchen / Living Room /
Office / Marantz M-CR610 / その他（お買い上げ時の設定：Marantz M-CR610）

- “その他”を選択すると、お好みのフレンドリ名に変更できます。



- 最大63文字まで編集できます。
- 文字の入力方法は、[77ページ](#)をご覧ください。

詳細な設定

ネットワークの詳細設定をおこないます。

ネットワーク環境を変更する場合は、“かんたん設定”をおこなってください。（操作方法については、別冊の「かんたん設定ガイド」をご覧ください。）

- ブロードバンドルータ（DHCP機能）をご使用の場合は、本機のお買い上げ時の設定でDHCP機能が“オン”になっていますので、“IPアドレス”と“プロキシ”の設定は必要ありません。
- “接続の設定”は、DHCP機能のないネットワークに接続する場合のみ設定してください。

■ 有線LANを設定

□ DHCP

ネットワークへの接続方法を選択します。

オン（お買い上げ時の設定）：

ご使用のルータから自動的にネットワーク設定をおこないます。

オフ：手動でネットワークの設定をします。

□ IPアドレス

入力するIPアドレスは下記の範囲で設定してください。

- 下記以外のIPアドレスではネットワークオーディオ機能を使用することはできません。

CLASS A: 10.0.0.1～10.255.255.254

CLASS B: 172.16.0.1～172.31.255.254

CLASS C: 192.168.0.1～192.168.255.254

□ サブネットマスク

xDSLモデムやターミナルアダプターを直接本機に接続している場合は、プロバイダから書面などで通知されたサブネットマスクを入力します。通常は255.255.255.0を入力します。

□ ゲートウェイ

ゲートウェイ（ルータ）に接続している場合は、そのIPアドレスを入力します。

□ プライマリーDNS、セカンダリーDNS

プロバイダから書面などで通知されたDNSアドレスが1つの場合は、“プライマリーDNS”に入力してください。2つ以上の場合は、1つを“セカンダリーDNS”に入力してください。

□ プロキシ

インターネットにプロキシサーバーを経由して接続する場合に設定します。

プロキシの設定は、契約しているプロバイダや社内のネットワークなどプロキシサーバーを経由してインターネットに接続している場合のみおこなってください。

プロキシ (オフ) または **プロキシ (オン)** :

プロキシサーバーを設定します。

プロキシ (アドレス) または **プロキシ (ネーム)** :

アドレスかドメイン名で入力するときに選択します。

アドレス または **ネーム** : アドレスかドメイン名を入力します。最大38文字まで入力できます。

ポート : ポート番号を入力します。



- インターネットに接続できない場合は、再度接続や設定を確認してください (☞ 26ページ)。
- インターネットの接続についてわからない場合は、ISP (インターネット・サービスプロバイダ) またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。

■ Wi-Fi接続の場合

ここでは、次の4つの接続方法でWi-Fiの設定ができます。

自動検索 / WPS (PIN) / WEBブラウザ設定 / 手動設定



- LANケーブルを接続している場合は、LANケーブルを外してください。
- リアパネルのWi-Fi CONNECTボタンを使用した接続方法については、別冊の「かんたん設定ガイド」をご覧ください。

□ 自動検索

ネットワークを自動検索します。

1 リストから、接続したいネットワークを選ぶ。

- 見つからない場合は“再検索する”を選択してください。

2 下記の設定をおこなう。

WEP固定値Key : デフォルトキーを選択します。

- “WEP固定値Key”は、WEPで暗号化されているネットワークに接続する場合に表示します。

パスワード : パスワードを入力します。

DHCP/プロキシ : DHCPやプロキシの設定をします (☞ 84、85ページ)。

接続を開始 : 接続のテストをおこないます。

□ WPS 設定 (PIN コード方式)

- 1 リストから、接続したいネットワークを選ぶ。
 - ・見つからない場合は“再検索する”を選択してください。

2 PINコードを登録する。

□ WEBブラウザ設定

ウェブブラウザを使用してWi-Fi設定をおこないます。
ウェブの閲覧が可能なWi-Fi機器が必要です。

- 1 画面に表示される注意文を確認し、ENTERを押す。

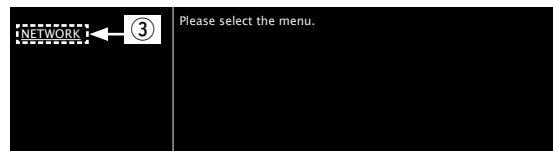
- 2 Wi-Fi機器のWi-Fiネットワーク一覧から、“Marantz M-CR610”を選ぶ。
本機にIPアドレス (192.168.1.16) を表示します。

3 ブラウザのアドレスボックスに、本機のIPアドレスを入力する。



- ① IPアドレス (192.168.1.16) を入力します。
- ② Safari ブラウザをご使用になる場合は、“Bonjour” を選択するとウェブコントロール画面に直接アクセスできます。

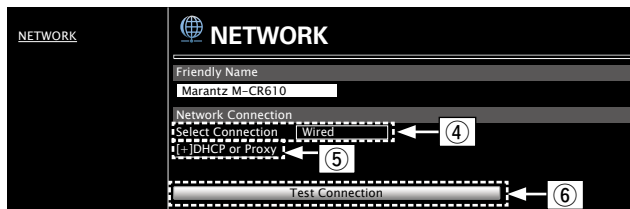
4 トップメニューが表示されたら、“NETWORK” をクリックする。



- ③ “NETWORK” をクリックします。
(☞【例1】)

5 操作する。

【例 1】ネットワーク設定1



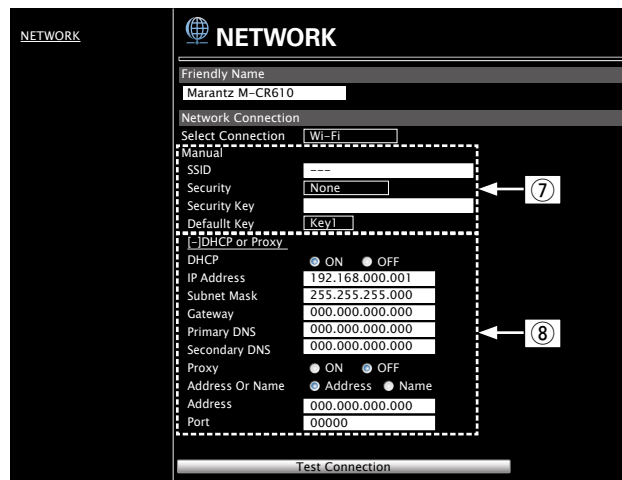
□ ネットワーク接続設定

- ④ 接続方法を選択するときをクリックします。“Wi-Fi”を選択すると新たな項目を画面に表示します。
(☞【例 2】)
- ⑤ DHCPやプロキシを設定するときをクリックします。
(☞【例 2】)
- ⑥ 設定を反映し接続を開始するときをクリックします。



- ネットワーク接続の設定を反映させるためには、最後に“Test Connection”をクリックしてください。

【例 2】ネットワーク設定2



□ ネットワーク接続設定

- ⑦ **【例1】** -④で“Wi-Fi”を選択したときに表示します。各項目を選択または入力した後、“Test Connection”をクリックして設定を反映してください。
- 選択項目や接続状態により表示される項目が変わります。
 - 各項目を選択したあとは、表示が更新されるまでしばらくお待ちください。
- ⑧ **【例1】** -⑤で“DHCP”または“プロキシ”を選択したときに表示します。DHCPやプロキシの設定を変更するときは、各項目を入力または選択してください。



- ネットワーク接続の設定を反映させるためには、最後に“Test Connection”をクリックしてください。

□ 手動設定

ネットワークを手動で接続します。


SSID：無線ネットワーク名（SSID）を入力します。

セキュリティ：ご使用のアクセスポイントの暗号化設定に合わせて、暗号化方式を選択します。

パスワード：パスワードを入力します。

WEP固定値Key：WEP固定値Keyを選択します。

- “WEP固定値Key”は、“WEP”で暗号化されているネットワークに接続する場合に表示します。

DHCP/プロキシ：DHCPやプロキシの設定をおこないます（ [84、85ページ](#)）。

接続を開始：接続のテストをおこないます。

困ったときは

目次

■ 上手な使いかた/こんなときの解決方法..... (90)	■ 故障かな?と思ったら..... (92)
電源オフ状態から簡単に操作する..... (90)	電源が入らない/電源が切れる..... (92)
iPodやUSBメモリーを簡単に操作したい..... (90)	LEDが点滅している..... (92)
iPodの充電だけをしたい..... (90)	リモコンで操作ができない..... (93)
アラーム機能でiPodの曲を指定する..... (90)	本機のディスプレイが表示されない..... (93)
アラーム機能で好きな曲を指定する..... (90)	音がまったく出ない..... (94)
ネットワーク環境の切り替えや再設定をする..... (90)	希望する音が出ない..... (95)
スピーカーを替えた場合に、 最適なリスニング環境に設定したい..... (90)	音が途切れたり、ノイズが入ったりする..... (96)
USBメモリーやミュージックサーバー内のすべてのファイルを 通常再生/ランダム再生/リピート再生する..... (91)	ディスクが再生できない..... (97)
	iPodが再生できない..... (98)
	USBメモリーが再生できない..... (99)
	iPodやUSBメモリー内のファイル名が 正しく表示されない..... (100)
	インターネットラジオが再生できない..... (100)
	パソコン内やNAS内の音楽ファイルが再生できない..... (101)
	Wi-Fi接続ができない..... (102)

上手な使いかた/こんなときの解決方法

電源オフ状態から簡単に操作する

- リモコンの入力ソース選択ボタン、▶/||ボタン、FAVORITES CALLボタンまたは ▲ボタンを押すと、起動と同時に各動作をおこないません (☞30、32、46ページ)。
- “ネットワーク制御” の設定を“オン”にすると、AirPlay や Marantz Remote App から起動と同時に再生操作ができます (☞56、83ページ)。

iPod や USB メモリーを簡単に操作したい

- フロントの USB 端子に接続すると自動的に入力ソースが切り替わり、再生をはじめます (☞50、53ページ)。

iPod の充電だけをしたい

- 本機の電源を入れて、iPod を接続してください。その後電源が切れても満充電になるまで iPod の充電をおこないません (☞52ページ)。
- リアの USB 端子に接続すると現在の入力ソースのまま、iPod の充電をおこないます。

アラーム機能で iPod の曲を指定する

- アラーム設定後の電源オフ状態で、iPod の再生したいところで一時停止してください (☞78ページ)。
- iPod touch や iPhone のアラーム再生をおこなうときは、iPod touch または iPhone をスリープ状態にしてください。電源操作によって電源オフにするとアラーム再生ができません。

アラーム機能で好きな曲を指定する

- NAS などに好きな曲を登録後、お気に入りに登録してからアラーム設定で指定してください (☞78ページ)。

ネットワーク環境の切り替えや再設定をする

- 別冊の「かんたん設定ガイド」を用意し、設定メニューの“かんたん設定”をおこなってください。詳細な設定は、設定メニューの“ネットワーク”⇒“詳細な設定”をおこなってください (☞84ページ)。

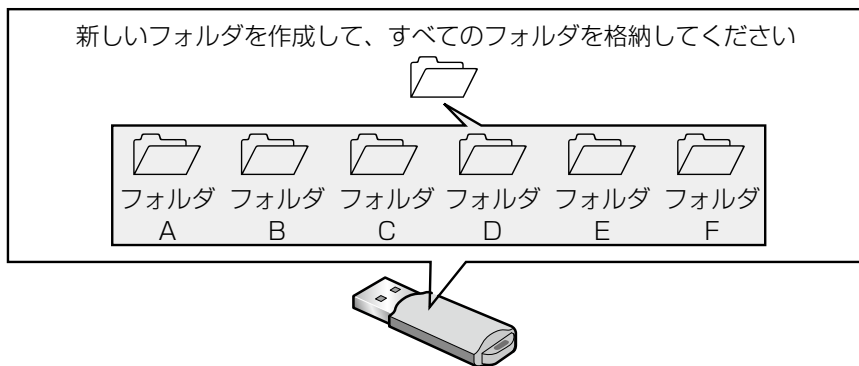
スピーカーを替えた場合に、最適なリスニング環境に設定したい



- 設定メニューの“一般”⇒“スピーカー設定”で“レスポンス”の設定をしてください (☞79ページ)。

USBメモリーやミュージックサーバー内のすべてのファイルを通常再生/ランダム再生/リピート再生する

- 再生したいフォルダを選択した後に▶/■ボタンを押すと、フォルダ内の曲を通常再生します。
すべての曲を通常再生/ランダム再生/リピート再生する場合は、次のようにファイルを一つのフォルダに格納してください。

[USBメモリーに収録されているコンテンツ]



すべてのフォルダを格納したフォルダを選択し、▶/■ボタンを押した後にRANDOM  ボタンまたはREPEAT  ボタンを押すと、選択したフォルダ内のすべてのファイルをランダム再生またはリピート再生することができます。

故障かな？と思ったら

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. スピーカーやプレーヤーは正しく動作していますか

本機が正しく動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。

なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でわかりにならない場合は、当社のおお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

■ 電源が入らない/電源が切れる

症状	原因 / 対策	関連ページ
電源が入らない。	・コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。	28
電源が自動的に切れる。	・スリープタイマーが設定されています。再度電源を入れてください。 ・オートスタンバイが設定されています。操作がない状態で一定時間が経過すると、“オートスタンバイ”が動作します。“オートスタンバイ”を無効にするには、設定メニューの“オートスタンバイ”を“オフ”に設定してください。	72 80

■ LEDが点滅している

症状	原因 / 対策	関連ページ
赤色に点滅している。	・本機のアンプ回路が故障しています。電源を切り、当社の修理相談窓口までご連絡ください。	-
オレンジ色に点滅している。	・電源が一度切れたことなどにより時刻がずれています。ネットワーク接続を確認して時刻を設定してください。	79

■ リモコンで操作ができない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
リモコンで操作ができない。	・乾電池が消耗しています。新しい乾電池と交換してください。	7
	・リモコンは、本機から約7mおよび30° 以内の範囲で操作してください。	7
	・本機とリモコンの間の障害物を取り除いてください。	-
	・乾電池の⊕と⊖を正しくセットしてください。	7
	・本機のリモコン受光部に強い光（直射日光、インバーター式蛍光灯の光など）があたっています。受光部に強い光があたらない場所に設置してください。	-
・3D映像機器をご使用の場合、各ユニット間（テレビや3D視聴用メガネなど）の無線通信の影響によって本機のリモコンが効かなくなることがあります。その場合は、3D通信の各ユニットの向きと距離を調節して、本機のリモコンの動作に影響がないことを確認してください。	-	

■ 本機のディスプレイが表示されない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
ディスプレイの表示が消える。	・リモコンのDIMMERボタンを押して消灯以外の設定にしてください。	72

■音がまったく出ない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
スピーカーから音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> • すべての機器の接続を確認してください。 • 接続ケーブルを奥まで挿してください。 • 入力端子と出力端子を間違えて接続していないか確認してください。 • ケーブルが破損していないか確認してください。 • スピーカーケーブルが正しく接続されていることを確認してください。ケーブルの芯線がスピーカー端子の金属部に接触していることを確認してください。また、スピーカー端子をしっかり締めてください。また、スピーカー端子が緩んでいないか確認してください。 • 適切な入力ソースが選択されていることを確認してください。 • 主音量を適切な大きさに調節してください。 • ミューティング（消音）モードを解除してください。 • 外部機器から本機に音声を入力している場合、適切な入力ソースが選択されていることを確認してください。 • 接続した機器のデジタル音声出力の設定を確認してください。機器によってはお買い上げ時の設定が“オフ”になっていることがあります。 • 本機のデジタル入力端子で再生できるデジタル音声信号は、2チャンネルリニアPCMのみです。 • スピーカーAまたはスピーカーBのみが選択されている場合があります。スピーカーが正しく接続されていることを確認後、SPEAKER A/Bボタンを押して確認してください。 • 本体のヘッドホン端子にヘッドホンのプラグを挿入していると、スピーカー端子から音が出なくなります。 	<p><u>17</u>、<u>21</u>、 <u>22</u>、<u>24</u>、 <u>26</u></p> <p>-</p> <p>-</p> <p>-</p> <p><u>17</u></p> <p><u>30</u></p> <p><u>31</u></p> <p><u>31</u></p> <p><u>55</u>、<u>58</u></p> <p><u>55</u></p> <p><u>55</u></p> <p><u>69</u>、<u>70</u>、 <u>79</u></p> <p><u>10</u></p>

■ 希望する音が出ない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
左右の音量バランスが悪い。	<ul style="list-style-type: none"> リモコンのDBB/TONEボタンを押して“バランス”の調節をおこなってください。 	71
スピーカーA/Bを切り替えることができない。	<ul style="list-style-type: none"> “バイアンプ”の設定が“有効”になっています。“バイアンプ”の設定を“無効”にしてください。 	20 、 79
サブウーハーから音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> サブウーハーの接続を確認してください。 サブウーハーの電源を入れてください。 	18 -
“Dynamic Bass Boost”、“低音”、“高音”および“レスポンス”の設定が反映されない。	<ul style="list-style-type: none"> 176.4kHz以上のサンプリング周波数の音源では、“Dynamic Bass Boost”、“低音”、“高音”および“レスポンス”の設定は無効になります。 “レスポンス”の設定は、ヘッドホン出力やオーディオ出力、サブウーハー出力には反映されません。 “Dynamic Bass Boost”、“低音”、“高音”の設定は、オーディオ出力やサブウーハー出力には反映されません。 	71 、 79 79 71



■ 音が途切れたり、ノイズが入ったりする

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
インターネットラジオやUSBメモリーを再生中に、音が途切れることがある。	<ul style="list-style-type: none"> • USBメモリーの転送速度が遅いと音が途切れることがあります。 • ネットワークの通信速度が遅いか、ラジオ局が混雑しています。 	- -
iPhoneで通話すると、本機の音声出力にノイズが入る。	<ul style="list-style-type: none"> • iPhoneを本機から20cm以上離して通話してください。 	-
FM/AM放送で雑音が多い。	<ul style="list-style-type: none"> • アンテナの向きや位置を変えてください。 • 屋外アンテナを使用してください。 • AM用ループアンテナの位置や向きを変えてください。 • アンテナと他の接続ケーブルを離してください。 	<u>24</u> <u>24</u> <u>24</u> <u>24</u>
Wi-Fi接続時に音切れがする。	<ul style="list-style-type: none"> • 周りの電波妨害により再生が途切れたりした場合には、有線LAN接続に切り替えてください。 • 特にデータ容量の大きい音楽ファイルを再生するときなどに、ご使用の無線LANの環境によっては、再生音が途切れることがあります。その場合は有線LAN接続をおこなってください。 	<u>26</u> 、 <u>27</u> 、 <u>84</u> <u>84</u>

■ ディスクが再生できない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
▶/■ボタンを押しても再生しない。ディスクの特定の場所が正しく再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> • ディスクが汚れたり、傷が付いたりしています。ディスクの汚れを拭き取るか、他のディスクと入れ替えてください。 	109
CD-R/CD-RWが再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> • ファイナライズをしていないディスクは再生できません。ファイナライズしたディスクをご使用ください。 • 記録状態が悪い、またはディスク自体の品質が悪いことが原因です。正しく記録したディスクをご使用ください。 • 本機のデータCD再生機能はMP3、WMAファイルのみに対応しています。 	109 、 115 -
“非対応です”と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> • 再生できないディスクを入れた場合には、“非対応です”を表示します。 	109
“Discがありません”と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> • ディスクを裏返しに入れた場合またはディスクが入っていない場合には、“Discがありません”を表示します。 	109

■ iPodが再生できない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
iPodが接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> • USB端子にiPodを接続して使用する場合、対応していないiPodがあります。 • iPodの接続に純正以外のUSBケーブルを使用すると、iPodを認識できない場合があります。純正のUSBケーブルを使用してください。 	<p>23</p> <p>-</p>
iPad上にAirPlayのアイコン  が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> • 本機とパソコン/iPhone/iPod touch/iPadが同一のネットワーク（LAN）に接続されていません。本機と同一のLANに接続してください。 • iTunes/iPhone/iPod touch/iPadがAirPlay対応のファームウェアではありません。最新のファームウェアにアップデートしてください。 	<p>26</p> <p>-</p>
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> • iTunes/iPhone/iPod touch/iPadの音量が最小になっています。iTunes/iPhone/iPod touch/iPadの音量と本機の音量は連動していません。適切な値に設定してください。 • AirPlayの再生をしていないか、本機が選択されていません。iTunes/iPhone/iPod touch/iPadの画面でAirPlayアイコン  をクリックして、本機を選択してください。 	<p>-</p> <p>56</p>
iPhone/iPod touch/iPadでAirPlay再生時に音が途切れる。	<ul style="list-style-type: none"> • iPhone/iPod touch/iPadのバックグラウンドで起動しているアプリケーションを終了してからAirPlay再生をしてください。 • Wi-Fi接続で外部の影響を受けている可能性があります。無線LANのアクセスポイントからの距離を短くするなどネットワーク環境を変更してください。 	<p>-</p> <p>-</p>
リモコンでiTunesの再生操作ができない。	<ul style="list-style-type: none"> • iTunesの“リモートスピーカーからiTunesのオーディオコントロールを許可する”の設定を有効にしてください。リモコンで再生/一時停止/スキップ操作ができます。 	<p>-</p>

■ USBメモリーが再生できない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
“接続していません”と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> • 接続不良などで、本機がUSBメモリーを認識できない場合があります。USBメモリーを接続し直すなど、接続を確認してください。 • マスストレージクラスまたはMTP対応のUSBメモリーに対応しています。 • 本機は、USBハブを経由した接続はできません。USBメモリーはUSB端子に直接接続してください。 • USBメモリーのフォーマットをFAT16またはFAT32に設定してください。 • すべてのUSBメモリーの動作は保証できません。一部のUSBメモリーは、認識できない場合があります。また、ACアダプターから電源供給できるタイプのUSB接続対応ポータブルハードディスクを使用する場合は、ハードディスクにACアダプターを接続して使用してください。 	<p><u>22</u></p> <p>-</p> <p>-</p> <p>-</p>
USBメモリー内のファイルを表示しない。	<ul style="list-style-type: none"> • 本機が対応していない形式のファイルは表示しません。 • 本機が、表示できるファイル構成は最大8階層、1フォルダあたりのサブフォルダとファイルの合計は最大5000個です。USBメモリーのフォルダ構成を変更してください。 • USBメモリーに複数のパーティションがある場合、先頭のパーティションのファイルのみを表示します。 	<p><u>53</u></p> <p>-</p> <p>-</p>
USBメモリーのファイルを再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> • 本機が対応していないフォーマットで作成されています。本機が対応しているフォーマットを確認してください。 • 本機では、著作権保護のかかったファイルを再生することはできません。 	<p><u>106</u></p> <p>-</p>

■ iPodやUSBメモリー内のファイル名が正しく表示されない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
ファイル名が“…”など、正しく表示されない。	・本機で表示できない文字は、“.”（ピリオド）に置き換えて表示します。	-

■ インターネットラジオが再生できない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
ラジオ局のリストが表示されない。	・LANケーブルが正しく接続されていないか、ネットワークが切断されています。接続状態を確認してください。	26
インターネットラジオが再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・選択したラジオ局が、本機に対応していないフォーマットで放送されています。本機で再生できるフォーマットは、MP3、WMAとAACです。 ・ルータのファイアウォールがはたらいています。ファイアウォールの設定を確認してください。 ・IPアドレスが正しく設定されていません。 ・ルータの電源が入っているか確認してください。 ・IPアドレスを自動で取得する場合は、ルータのDHCPサーバ機能を有効にしてください。また、本機のDHCP設定を“オン”にしてください。 ・IPアドレスを手動で取得する場合は、本機のIPアドレス、プロキシを設定してください。 ・時間帯により無音放送になっているラジオ局があります。この場合、音声は出力しません。しばらく経ってから選択するか、別のラジオ局を選択してください。 	107 - 84 - 84 84 37
お気に入りに登録したラジオ局に接続できない。	・ラジオ局がサービスを停止しています。放送中のラジオ局を登録してください。	-
“接続が途切れました”と表示され、接続できないラジオ局がある。	・ラジオ局が放送を停止しています。放送中のラジオ局を選択してください。	-

■ パソコン内やNAS内の音楽ファイルが再生できない

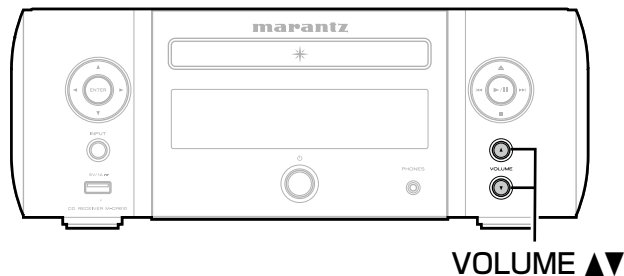
症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
パソコンに保存してある音楽ファイルが再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> • ファイルが対応しているフォーマット以外で記録されています。対応しているフォーマットで記録してください。 • 本機では、著作権保護のかかったファイルを再生することはできません。 • 本機のUSB端子は、パソコンと接続することはできません。 • メディアの共有設定が正しくありません。本機がパソコンのフォルダにアクセスできるようにメディアの共有設定を変更してください。 	<p><u>108</u></p> <p>-</p> <p>-</p> <p><u>41</u></p>
サーバーが見つからないか、サーバーに接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> • パソコンまたはルータのファイアウォールがはたらいています。接続しているパソコンまたはルータのファイアウォールの設定を確認してください。 • パソコンの電源が入っていません。電源を入れてください。 • サーバーが起動していません。サーバーを起動してください。 • 本機のIPアドレスが正しくありません。本機のIPアドレスを確認してください。 	<p>-</p> <p>-</p> <p>-</p> <p><u>83</u></p>
パソコン内の音楽ファイルが再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> • 本機のUSB端子にパソコンを接続しても、パソコン内の音楽ファイルは再生できません。パソコンはネットワーク経由で本機に接続してください。 	<u>26</u>
パソコン内やNAS内のファイルが表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> • 本機が対応していない形式のファイルは表示しません。 	<u>108</u>
NASに保存した曲が再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> • DLNA準拠のNASをご使用の場合は、NASの設定でDLNAサーバー機能を有効にしてください。 • DLNAに準拠していないNASをご使用の場合は、パソコンを経由して再生してください。Windows Media Playerのメディア共有機能設定をおこなひ、再生対象フォルダにNASを追加してください。 • 接続を制限している場合は、オーディオ機器を接続対象にしてください。 	<p>-</p> <p><u>41</u></p> <p>-</p>

■ Wi-Fi接続ができない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
ネットワークに接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> • ネットワーク名およびパスワード（WEPなど）の設定が正しくない。ネットワークの設定と、本機の設定内容を合わせてください。 • 無線LANのアクセスポイントからの距離を短くしたり、障害物をなくしたりして、見通しを良くしてから接続し直してください。また、電子レンジや他のネットワークのアクセスポイントから離して設置してください。 • ルータの電源を確認してください。 • 本機はIEEE 802.11b/gに対応しています。 • アクセスポイントのチャンネル設定を、他のネットワークで使用しているチャンネルから離して設定してください。 • 本機はWEP（TSN）との互換性はありません。 	<p><u>88</u></p> <p>-</p> <p>-</p> <p>-</p> <p>-</p> <p>-</p>
WPS接続ができない。	<ul style="list-style-type: none"> • ルータのWPSモードが動作しているか確認してください。 • ルータの操作後、2分以内に本機のWi-Fi CONNECTボタンを約3秒間長押ししてください。 • WPS2.0規格に対応したルータ/設定が必要です。暗号化タイプを“なし”、“WPA-PSK（AES）”または“WPA2-PSK（AES）”に設定してください。 • ルータの暗号化方式がWEP/WPA-TKIP/WPA2-TKIPのいずれかの場合は、WPSボタンを使用して接続することはできません。この場合は“自動検索”または“手動検索”の方法で接続してください。 	<p>-</p> <p>-</p> <p><u>84</u></p> <p><u>85</u>、<u>88</u></p>
iPhone/iPod touch/iPadを使用したネットワーク接続ができない。	<ul style="list-style-type: none"> • iPhone/iPod touch/iPadを最新のファームウェアにアップデートしてください。 	-

お買い上げ時の設定に戻す

表示が正しくない場合や操作ができない場合などにおこないます。
各種設定内容がお買い上げ時の設定になります。再度設定をおこなってください。



- 1 電源コードをコンセントから抜く。
- 2 VOLUME ▲▼を同時に押しながら、電源プラグをコンセントに差し込む。
- 3 スタンバイ表示が緑色に点灯したら、2つのボタンから指を離す。
ディスプレイに“Initialized”を表示します。



• 手順3で“Initialized”が表示されない場合は、もう一度手順1からやり直してください。

保証と修理について

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間はご購入日から1年間です。

■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

- 保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

有料修理の料金については、「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へお問い合わせください。

■ 補修部品の保有期間

- 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

■ 修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな?と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただかずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼される時

- 添付の「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へご相談ください。
- 持ち込み修理対象製品の出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただくこととなりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼される時のために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

■ 依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名……取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号…保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

■ お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

データCDを再生する

■ データCDのフォーマットについて

本機では、次のフォーマットで作成したCD-RまたはCD-RWを再生できます。

ライティングソフトのフォーマット

ISO9660レベル1

他のフォーマットで記録している場合は、正しく再生できないことがあります。

再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

フォルダ数とファイル数の合計：512個

最大フォルダ数：256個

ファイル形式

MPEG-1 Audio Layer-3

WMA (Windows Media Audio)

タグ情報

ID3タグ (Ver.1.x と2.x)

METAタグ (タイトル、アーティストおよびアルバムに対応)

■ 再生できるファイルの仕様

	サンプリング 周波数	ビットレート	拡張子
MP3	32/44.1/48kHz	32~320kbps	.mp3
WMA	32/44.1/48kHz	64~192kbps	.wma



- ファイルには必ず拡張子“.MP3”“.WMA”を付けてください。これら以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかったファイルは再生できません。
- MacのOS Xで作成したファイルの中で、ファイル名の先頭に“.”が付いているファイルは、音楽データでないため再生できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

USBメモリーを再生する

- MP3 ID3タグ（バージョン2.0）に対応しています。
- 本機では、MP3 ID3タグのバージョン2.3または2.4を使用し、アートワークを表示できます。
- WMA METAタグに対応しています。
- アルバムアートの画素サイズ（ピクセル）が500×500（WMA/MP3/WAV/FLAC）または349×349（MPEG-4 AAC）を超えている場合は、正しく再生できないことがあります。

■再生できるファイルの仕様

	サンプリング 周波数	ビット レート	拡張子
WMA (Windows Media Audio)*1	32/44.1/48kHz	48~192 kbps	.wma
MP3 (MPEG-1 Audio Layer-3)	32/44.1/48kHz	32~320 kbps	.mp3
WAV	32/44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	—	.wav
MPEG-4 AAC *2	32/44.1/48kHz	16~320 kbps	.aac/ .m4a/ .mp4
FLAC (Free Lossless Audio Codec)	32/44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	—	.flac
ALAC (Apple Lossless Audio Codec)*3	32/44.1/48/ 88.2/96kHz	—	.m4a

- *1 MTPに対応した一部のポータブルプレーヤーでは、著作権保護のあるファイルを再生できます。
- *2 著作権保護のないファイルのみ再生できます。
インターネット上の有料音楽サイトからダウンロードしたコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンでCDなどからリッピングする際にWMAでエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。
- *3 Copyright [2012] [D&M Holdings, Inc.]
Apache License Version 2.0（「本ライセンス」）に基づいてライセンスされます。このファイルを使用するためには、本ライセンスに従わなければなりません。本ライセンスのコピーは下記のURLから入手できます。
<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

■ 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

本機で表示できるフォルダやファイルの制限数は次のとおりです。

項目	メディア	USBメモリー
メモリーの容量		FAT16 : 2GB、FAT32 : 2TB
フォルダの階層数*1		8階層
フォルダ数		500
ファイル数*2		5000

*1 制限数にはルートフォルダを含みます。

*2 USBメモリーの容量やファイルサイズにより、許容ファイル数が変わる場合があります。

インターネットラジオ局の再生について

■ 再生できる放送局の仕様

	サンプリング 周波数	ビット レート	拡張子
WMA (Windows Media Audio)	32/44.1/48kHz	48~192 kbps	.wma
MP3 (MPEG-1 Audio Layer-3)	32/44.1/48kHz	32~320 kbps	.mp3
MPEG-4 AAC	32/44.1/48kHz	16~320 kbps	.aac/ .m4a/ .mp4

パソコンやNASに保存されている ファイルを再生する

- MP3 ID3タグ（バージョン2.0）に対応しています。
- 本機では、MP3 ID3タグのバージョン2.3または2.4を使用し、アートワークを表示させることができます。
- WMA METAタグに対応しています。
- アルバムアートの画素サイズ（ピクセル）が500×500（WMA/MP3/WAV/FLAC）または349×349（MPEG-4 AAC）を超えている場合は、正しく再生できないことがあります。
- ネットワーク経由での音楽ファイルの再生には、そのフォーマットの配信に対応したサーバーまたはサーバーソフトウェアが必要です。



- 特にデータ容量の大きい音楽ファイルを再生するときなどに、ご使用の無線LANの環境によっては、再生音が途切れることがあります。その場合は有線LAN接続をおこなってください。

■再生できるファイルの仕様

	サンプリング 周波数	ビット レート	ビット 数	拡張子
WMA (Windows Media Audio)	32/44.1/48kHz	48~192 kbps	-	.wma
MP3 (MPEG-1 Audio Layer-3)	32/44.1/48kHz	32~320 kbps	-	.mp3
WAV	32/44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	-	16/24 ビット	.wav
MPEG-4 AAC*1	32/44.1/48kHz	16~320 kbps	-	.aac/ .m4a/ .mp4
FLAC (Free Lossless Audio Codec)	32/44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	-	16/24 ビット	.flac
ALAC (Apple Lossless Audio Codec)*2	32/44.1/48/ 88.2/96kHz	-	16/24 ビット	.m4a

*1 著作権保護のないファイルのみ再生できます。
インターネット上の有料音楽サイトからダウンロードしたコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンでCDなどからリッピングする際にWMAでエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。

*2 Copyright [2012] [D&M Holdings, Inc.]
Apache License Version 2.0（「本ライセンス」）に基づいてライセンスされます。このファイルを使用するためには、本ライセンスに従わなければなりません。本ライセンスのコピーは下記のURLから入手できます。

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

ディスクについて

■ 本機で使用できるディスク

① 音楽用CD

本機で使用できるCDは、右のマークが付いているものです。



② CD-R/CD-RW

ご注意

- ハート型や八角形など特殊形状のCDは再生できません。故障の原因になりますので、使用しないでください。
- ご使用になるディスクや記録状態により、再生できない場合があります。
- ファイナライズしていないディスクは再生できません。



□ ファイナライズとは？

録音されたCD-R/CD-RWを再生対応機で再生できるように処理することです。

■ ディスクの持ちかた



ディスク情報面に触らないようにしてください。

■ ディスクの入れかた

- レーベル面を上にして入れてください。
- ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを入れてください。
- 12cmディスクは外周トレイガイド(図1)に合わせ、8cmディスクは内周トレイガイド(図2)に合わせて、水平に置いてください。

図1

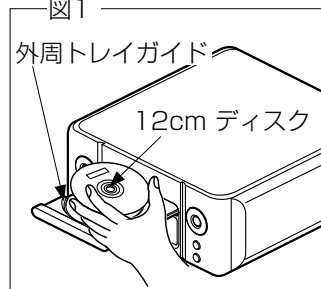
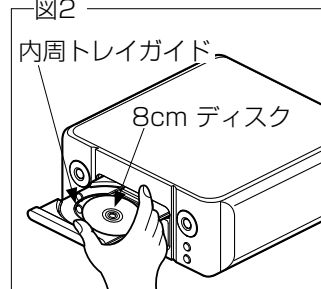


図2



- 8cmディスクは、アダプターを使用せずに内周トレイガイドに合わせて置いてください。



- 再生できないディスクを入れた場合には、“非対応です”を表示します。
- ディスクを裏返しに入れた場合またはディスクが入っていない場合には、“Discがありません”を表示します。

ご注意

- 電源を切っているときに、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因になります。
- ディスクトレイに異物を入れないでください。故障の原因になります。
- 本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

■ ディスクを入れる際のご注意

- ディスクは1枚だけ入れてください。2枚以上重ねて入れると故障の原因になり、ディスクを傷つけることにもなります。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどのノリがはみ出したり、はがした跡にノリが残っているディスクは使用しないでください。そのまま使用すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

■ 取り扱いについてのご注意

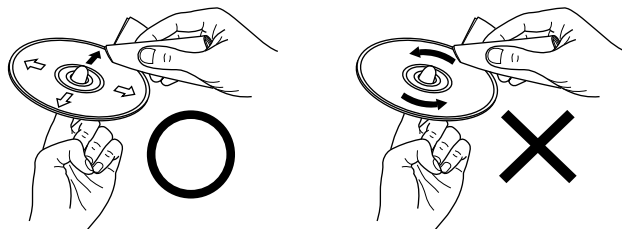
- 指紋・油・ゴミなどを付けないでください。
- ディスクに傷を付けないよう、特にケースからの出し入れにはご注意ください。
- 曲げたり、熱を加えたりしないでください。
- 中心の穴を大きくしないでください。
- レーベル面（印刷面）にボールペンや鉛筆などで文字を書いたり、ラベルなどを貼り付けたりしないでください。
- 屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと、ディスクに水滴が付くことがあります。ヘッドライヤーなどで乾かさなくてください。

■ 保存についてのご注意

- ご使用後は、必ずディスクを取り出してください。
- ほこり・傷・変形などを避けるため、必ずケースに入れてください。
- 次のような場所に置かないでください。
 1. 直射日光が長時間当たるところ
 2. 湿気・ほこりなどが多いところ
 3. 暖房器具などの熱が当たるところ

■ ディスクのお手入れのしかた

- ディスクに指紋や汚れが付いたときは、汚れを拭き取ってから使用してください。音質が低下したり、音が途切れたりすることがあります。
- 拭き取りには、市販のディスククリーニングセットまたはやわらかい布などを使用してください。



内周から外周方向へ軽く拭く。円周に沿っては拭かない。

ご注意

- レコードスプレー・帯電防止剤や、ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

ラストファンクションメモリー

スタンバイにする直前の各種設定を記憶します。
再び電源を入れると、スタンバイにする直前の設定になります。

用語の解説

A

AES (Advanced Encryption Standard)

現在用いられているDES、3DESに代わる次世代の標準暗号方式で、強固な暗号方式として無線LANへの幅広い普及が見込まれています。暗号化アルゴリズムには、ベルギーの暗号開発者が開発した「Rijndael (ラインダール)」が採用され、データを固定のブロック長で区切ってそれぞれ暗号化をおこないます。データ長は128、192、256ビット、鍵の長さは128、192、256ビットがサポートされていて暗号強度は非常に高く設定されています。

AirPlay

iTunesまたはiPhone、iPod touch、iPadに収録されているコンテンツをネットワーク経由で対応する機器に転送（再生）する機能です。

ALAC (Apple Lossless Audio Codec)

アップル社が開発した音声データ可逆圧縮方式のコーデックです。iTunesやiPhone、iPodで再生できます。約60～70%に圧縮されたデータを完全に元どおりのデータに再現します。

D

DLNA

DLNA および DLNA CERTIFIED は、デジタル・リビング・ネットワーク・アライアンス Digital Living Network Alliance の商標 / サービスマークです。コンテンツには DLNA CERTIFIED[®] 製品と適合しないものがある可能性があります。

F

FLAC

可逆圧縮方式のフリーの音声ファイルフォーマットです。可逆圧縮のため、原音からの音質の劣化がありません。FLACのライセンスについては、次のとおりです。

Copyright (C) 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009 Josh Coalson

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

I

IEEE 802.11b

IEEE（米国電気電子学会）でLAN技術の標準を策定している802委員会が定めた、無線LANの規格の1つです。無線免許無しで自由に使用可能な2.4GHz帯の電波（ISMバンド）を使用し、最大11Mbpsの速度で通信できます。表示の数値は、無線LAN規格の理論上の最大値であり、実際のデータの転送速度を示すものではありません。

IEEE 802.11g

IEEE（米国電気電子学会）でLAN技術の標準を策定している802委員会が定めた、無線LANの規格の1つです。IEEE 802.11bと互換性を持ち、同じ2.4GHz帯を使用しながら、最大で54Mbpsの通信がおこなえます。表示の数値は、無線LAN規格の理論上の最大値であり、実際のデータの転送速度を示すものではありません。

iTunes

アップル社が提供しているマルチメディアプレーヤーの名称です。音楽をはじめとしてビデオなどのコンテンツを管理・再生することができます。AACをはじめとしてWAVやMP3など主要なファイル形式に対応しています。

M

MP3 (MPEG Audio Layer-3)

音声データ圧縮方式の1つで、国際的な標準規格です。映像圧縮方式の「MPEG-1」に採用されています。音楽CD並の音質を保ったままデータ量を約1/11に圧縮できます。

MPEG (Moving Picture Experts Group) 、MPEG-2、MPEG-4

デジタル圧縮形式として映像や音声を符号化するために使用される規格群の名前です。ビデオの規格には、「MPEG-1 Video」、「MPEG-2 Video」、「MPEG-4 Visual」、「MPEG-4 AVC」などがあります。音声の規格には、「MPEG-1 Audio」、「MPEG-2 Audio」、「MPEG-4 AAC」などがあります。

T

TKIP (Temporal Key Integrity Protocol)

WPAで使用される、ネットワークキーの1つです。暗号化アルゴリズムはWEPと同じRC4ですが、1パケットごとに暗号化に使用するネットワークキーを変更することで、セキュリティレベルが高くなっています。

V

vTuner

インターネットラジオの無料オンラインコンテンツサービスです。

本サービスに関するお問い合わせは、下記vTunerのサイトまでお願い致します。

vTunerホームページ：

<http://www.radiomarantz.com>

本製品は、Nothing Else Matters Software and BridgeCoの知的財産権により保護されています。当該技術の本製品以外での使用または配布は、Nothing Else Matters Software and BridgeCoの許諾がない限り禁止されています。

W

WEP Key (ネットワークキー)

データ通信をおこなう際にデータを暗号化するために使用する鍵情報です。本機はデータの暗号化/復号化ともに同一のWEPキー(ネットワークキー)を用いるため、通信する相手と同一のWEPキーを設定する必要があります。

Wi-Fi®

無線LANの互換性接続を保証する団体「Wi-Fi Alliance」の相互接続性テストを合格していることを示します。

Windows Media DRM

マイクロソフト社が開発した著作権保護技術です。コンテンツプロバイダは、自らのコンテンツ(“セキュアコンテンツ”)の完全性を保護するために、本デバイス(“WM-DRM”)に内蔵されたWindows Media用デジタル権管理技術を使用し、当該コンテンツに対する自らの知的財産権(著作権を含む)が悪用されないようにしています。

本デバイスは、セキュアコンテンツを再生するため、WM-DRMソフトウェア(“WM-DRMソフトウェア”)を使用しています。本デバイス内のWM-DRMソフトウェアのセキュリティがあやうくなった場合、セキュアコンテンツの所有者(“セキュアコンテンツオーナー”)は、マイクロソフト社が、セキュアコンテンツをコピー・表示・再生する新たなライセンスを得るWM-DRMソフトウェアの権利を取り消すよう要請することができます。この取り消しは、保護されていないコンテンツを再生するWM-DRMソフトウェアの能力には影響がありません。インターネットまたはパソコンからセキュアコンテンツのライセンスをダウンロードするときはいつも、取り消されたWM-DRMソフトウェアのリストがデバイスに送られます。マイクロソフト社は、セキュアコンテンツオーナーに代わって、当該ライセンスとともに、取り消されたWM-DRMソフトウェアのリストをデバイスにダウンロードできます。

Windows Media Player

マイクロソフト社が無料で提供しているメディアプレーヤーです。

Windows Media Playerのバージョン11以降で作成されたプレイリストやWMA、DRM WMA、WAVファイルなどが再生可能です。

WMA (Windows Media Audio)

米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。

WMAデータは、Windows Media® Playerを使用してエンコード（符号化）することができます。

WMAファイルは、米国Microsoft Corporationより認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正しく動作しないことがあります。

WPA (Wi-Fi Protected Access)

Wi-Fiアライアンスが策定したセキュリティ規格です。従来のSSID（ネットワーク名）やWEPキー（ネットワークキー）に加えて、ユーザ認証機能や暗号化プロトコルを採用して、セキュリティを強化しています。

WPA2 (Wi-Fi Protected Access 2)

Wi-Fiアライアンスが策定したWPAの新バージョンです。WPAと比べ、より強力なAES暗号に対応しています。

WPA-PSK/WPA2-PSK (Pre-shared Key)

あらかじめ設定した文字列が無線LANアクセスポイントとクライアントで一致した場合、相互認証をおこなう簡易認証の方式です。

WPS (Wi-Fi Protected Setup)

無線LAN機器の接続とセキュリティ設定を簡単に実行するためにWi-Fiアライアンスが策定した規格です。

プッシュボタン方式とPIN（Personal identification number）コード方式の2種類があります。

さ行

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波（アナログ信号）を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化（デジタル信号化）することです。

1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

スピーカーインピーダンス

交流抵抗値のことで Ω （オーム）という単位であらわします。この値が小さいほど大きな電力が得られます。

な行

ネットワーク名 (SSID : Security Set Identifier)

無線LANのネットワークを構成するとき、混信やデータの盗難などを防ぐために、グループ分けをします。このグループ分けを「SSID（ネットワーク名）」でおこないます。さらにセキュリティ強化のために、WEPキーを設定し、「SSID」とWEPキーが一致しないと通信できないようになっています。一時的な簡易ネットワークを構成する場合に適しています。

は行

ビットレート (Bit rate)

ディスクに記録された映像/音声データを1秒あたりに何ビットのデータに処理したかを表します。この数値が大きいほど音質は向上しますが、ファイルサイズは大きくなります。

ファイナライズ

録音されたCD-R/CD-RWを再生対応機で再生できるように処理することです。

保護回路

何らかの原因で過負荷や過電圧、高温状態などの異常が起きたときに、電源内部の部品が破損するのを防止する機能です。本機では、異常発生時にはスタンバイ表示が赤色で点滅し、スタンバイ状態になります。

登録商標について

“Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, or iPhone, may affect wireless performance. AirPlay, the AirPlay logo, iPad, iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod shuffle and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

- iPhone、iPod、iPod classic、iPod nano、iPod shuffleおよびiPod touchは、著作権のないコンテンツまたは法的に複製、再生を許諾されたコンテンツを個人が私的に複製、再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

主な仕様

■ オーディオ部

・CDプレーヤー部

再生周波数特性：

10Hz~20kHz

ワウ・フラッター：

測定限界 ($\pm 0.001\%$ W.peak) 以下

サンプリング周波数：

44.1kHz

・オーディオ部

定格出力：

2チャンネル

50W+50W (6 Ω 、1kHz、THD+N 0.7%)

実用最大出力：

60W+60W (6 Ω 、1kHz、THD+N 10%、JEITA)

出力端子：

スピーカー：負荷6~8 Ω

ヘッドホン/ステレオヘッドホン適合

入力感度/入力インピーダンス：

Analog In 1/2：200mV/22k Ω

全高調波歪率 (1kHz、5W、6 Ω)：

Analog In 1/2：0.1%

S/N比 (10W、6 Ω 、IHF-A)：

Analog In 1/2：86dB

トーンコントロール：

Dynamic Bass Boost：100Hz+8dB

低音：100Hz \pm 10dB

高音：10kHz \pm 10dB

周波数特性：

Analog In 1/2：5Hz~22kHz (± 3 dB)

■ チューナー部

受信周波数帯域：

受信感度：

ステレオ分離度：

S/N比：

全高調波歪率（1kHz）：

[FM]

76.00MHz～90.00MHz

1.2 μ V/75 Ω

30dB（1kHz）

モノラル：74dB

ステレオ：70dB

モノラル：0.3%

ステレオ：0.4%

[AM]

522kHz～1629kHz

20 μ V

■ 無線LAN

ネットワーク種類（無線LAN規格）：

IEEE 802.11b 準拠

IEEE 802.11g 準拠

（Wi-Fi[®]準拠）*

転送レート：

DS-SS: 11 / 5.5 / 1Mbps（自動切り替え）

OFDM: 54 / 48 / 36 / 24 / 18 / 12 / 9 / 6Mbps（自動切り替え）

セキュリティ：

SSID（ネットワーク名）

WEP key（ネットワークキー）（64/128bits）

WPA-PSK（TKIP/AES）

WPA2-PSK（TKIP/AES）

使用周波数範囲：

2.412GHz～2.472GHz

チャンネル数：

IEEE 802.11b準拠：13ch（DS-SS）（そのうち1チャンネルを使用）

IEEE 802.11g準拠：13ch（OFDM）（そのうち1チャンネルを使用）

* Wi-Fi[®]準拠とは、無線LANの相互接続性を保証する団体「WiFi Alliance」の相互接続性テストに合格していることを示します。

■ 時計/アラーム

時計方式：	電源周波数同期方式（月差±60秒以内）
アラーム：	一度きりのアラーム/毎日のアラーム：各1系統 スリープタイマー：最大90分

■ 総合

電源：	AC100V 50/60Hz
消費電力：	55W
スタンバイ時の消費電力：	0.3W
“ネットワーク制御” ⇨ “オン” 時の消費電力：	3W

- JEITA：（社）電子情報技術産業協会（略称：JEITA）が制定した規格です。
- 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

索引

A

AES	111
AirPlay	56、111
ALAC	111
AMループアンテナ	24、25

D

Direct iPod	51
DLNA	111

F

FLAC	111
FM/AM	44
FM室内アンテナ	24

I

IEEE 802.11b	112
IEEE 802.11g	112
iPod/iPhoneの充電	52
iTunes	112

M

MP3 (MPEG Audio Layer-3)	112
MPEG	112

R

Remote iPod	51
-------------	----

T

TKIP	113
------	-----

V

vTuner	39、113
--------	--------

W

WEP Key (ネットワークキー)	113
Wi-Fi	113
Windows Media DRM	113
Windows Media Player	114
WMA	114
WPA	114
WPA2	114
WPA-PSK/WPA2-PSK	114
WPS	114

あ

アップデート	80
アナログ機器	21
アラーム	78

う

ウェブコントロール	63
-----------	----

お

オートスタンバイ	80
お買い上げ時の設定に戻す	103
お知らせ機能	81
音量調整	80
音量を調節する	31

か

拡張子	105、107、108
かんたん設定	73

け

ケーブル	
オーディオケーブル	16
サブウーハーケーブル	16
スピーカーケーブル	16、17、69
光伝送ケーブル	16
LANケーブル	16
言語	80
現在時刻の確認	72

🔍 こ

故障かな?と思ったら..... 92

🔍 さ

再生

ALAC.....40、53
ANALOG IN.....55
CD.....32
DATA CD.....35
DIGITAL IN.....55
FLAC.....40、53
FM/AM.....44
iPod (USB).....49
MP3.....36、40、53
MPEG-4 AAC.....36、40、53
NAS.....40
USBメモリー.....53
WAV.....40、53
WMA.....36、40、53
インターネットラジオ.....36
パソコン.....40
サンプリング周波数
.....105、107、108、114

🔍 し

上手な使いかた/こんなときの解決方法..... 90
新機能の追加..... 81

🔍 す

スピーカーA.....18
スピーカーB.....19
スピーカーインピーダンス.....114
スピーカーケーブル.....69
スピーカー設定.....79
スリープタイマー.....72

🔍 せ

接続

FM/AM.....24
iPod (USB).....22
USBメモリー.....22
アナログ機器.....21
スピーカーA.....18
スピーカーB.....19
デジタル機器.....21
電源コード.....28
パイアンプ.....20
ホームネットワーク (LAN).....26
マルチドライブ接続.....69

🔍 ち

チューナー操作メニュー
オートプリセット.....45
チューニングモード.....45

🔍 て

ディスプレイの明るさを切り替える.....72
デジタル機器.....21
電源を入れる.....30

🔍 と

時計.....79

🔍 に

入カソースを選ぶ.....30

🔍 ね

ネットワーク.....83
ネットワーク情報.....83
ネットワーク制御.....83
ネットワーク名 (SSID).....114

🔍 は

パイアンプ.....20、79

ひ

ビット数	108
ビットレート	105、107、108、115

ふ

ファームウェア	80
ファイナライズ	115
付属品	6
フレンドリ名	83
プログラム再生	33
フロントパネル	9

ほ

保護回路	115
------	-----

み

ミュートイング	31
---------	----

め

メニュー一覧	73
一般	74、78
かんたん設定	73
ネットワーク	75、83

も

文字	77
文字入力について	77

ら

ラストファンクションメモリー	110
ランダム再生	33、35、42、51、54

り

リアパネル	11
リピート再生	33、35、42、51、54
リモコン	13
乾電池の入れかた	7

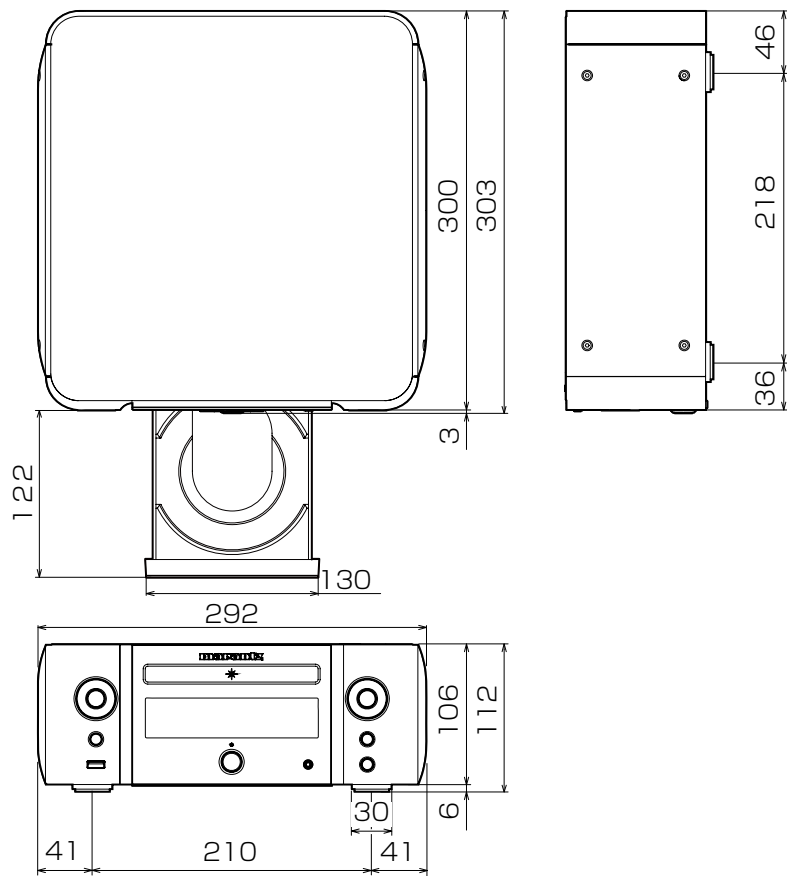
れ

レスポンス	79
-------	----



■ 寸法

单位：mm



■ 質量：3.4kg

marantz®

お客様ご相談センター

☎ 0570 (666) 112

【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】

IP 電話をご利用の場合など、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。その場合は 03 (3570) 5138 におかけください。

受付時間 9:30 ~ 17:30
(当社休日および祝日を除く、月～金曜日)

〒210-8569 神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&Mビル

修理に関するお問い合わせは、
添付の「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」をご覧ください。

後日のために記入しておいてください。

購入店名：	電話（	-	-	）
ご購入年月日：	年	月	日	

株式会社 ディーアンドエムホールディングス
当社の最新情報をインターネット上でご覧ください。

<http://www.marantz.jp>